

CyberLink

PowerDVD Ultra

User's Guide

使用許諾契約書

この契約書の日本語訳は、英文の End User License Agreement（'EULA'）の理解を補助する目的で作成されたものです。容易な表現と、英文契約書との整合性に注意を払って作成しておりますが、一部意訳されている部分があり、本契約の詳細につきましては英文契約書を正式文書としてご覧頂きたくお願いいたします。

End User License Agreement（EULA）：使用許諾契約書

当製品（以下「本ソフトウェア」という）の導入およびご利用の前に、以下の使用許諾契約書（以下「本契約書」とする）をお読みください。

本ソフトウェアのご利用にあたっては、お客様が本契約書に記載された条項を事前に承諾いただくものとし、本ソフトウェアをインストール、バックアップ、ダウンロード、アクセス、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に承諾されたものとしします。

本契約書は、本ソフトウェアに関してお客様（個人または法人のいずれであるかを問いません）と CyberLink Corp.（以下「サイバーリンク」といいます）との間に締結される法的な契約書となります。

ライセンスの許諾および保証規定

本契約書をお読みになり、記載された条項に承諾される場合は、導入画面中に表示される本契約の同意を求める画面で「はい」をクリックしてください。記載された条項に承諾いただけない場合は、インストール作業を中止し、本ソフトウェアの利用を中止するとともに、本ソフトウェアをコンピュータ上から削除してください。

使用権の許諾

サイバーリンクは本ソフトウェアの非独占的な権利をお客様に対して許諾し、これによりお客様は、本ソフトウェアをご購入頂いたライセンス数に準じた台数のコンピュータへインストールし、本契約記載の条項に従って本ソフトウェアを利用することができるものとしします。

本ソフトウェア、付属するマニュアルなどの文書または電子文書を含む一切の印刷物（以下「関連印刷物」といいます）の第三者への賃貸、貸与、販売、変更、修正、リパス・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、転用、商標の削除などとはできないものとしします。

また、バックアップを目的として本ソフトウェアおよび関連印刷物の複製を作成する場合を除いて、本ソフトウェアおよび関連印刷物のコピーはできないものとしします。

「再販禁止」表記のある場合を除いて、本ソフトウェアの最初のお客様は、本ソフトウェアおよび関連印刷物を一度に限りかつ他のユーザーに直接行う場合に限り、本契約書記載の条項に沿って恒久的に譲渡できるものとしします。この場合、最初のお客様は本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップの一切を、物理的および電子的に

読み取りができないよう破棄し、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するとともに、譲渡されたユーザーは本契約記載の条項に承諾いただくものとします。これにより、当該ソフトウェアのご利用ライセンスは自動的に解除されます。

所有権

本ソフトウェアならびに関連印刷物の著作権、特許、商標権、ノウハウ及びその他のすべての知的所有権は、体裁、媒体、バックアップであるかの如何にかかわらず、その一切についてサイバーストックに独占的に帰属します。

本契約書に特に規定されていない権利はすべてサイバーストックによって留保されます。

アップグレード

本ソフトウェアが従来製品からのアップグレードであった場合、従来製品の著作権は本ソフトウェアの著作権に交換されるものとします。本ソフトウェアの導入または使用により、従来製品の使用許諾契約が自動的に解除されることにお客様は同意されたものとし、お客様による従来製品の使用ならびに第三者への譲渡はできなくなります。

第三者提供のコンテンツの利用

お客様が、本ソフトウェアにより第三者から提供される画像・音声データなどのコンテンツを再生し利用する場合、その権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。

保証及び責任の限定

サイバーストックは、本ソフトウェア、関連印刷物、およびサポートサービスに起因してお客様又はその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、一切の瑕疵担保責任および保証責任を負いません。また、本ソフトウェア又は関連印刷物の物理的な紛失、盗難、事故及び誤用等に起因するお客様の損害につき一切の保証をいたしません。

サイバーストックは、本ソフトウェア及び関連印刷物の機能もしくはサポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証するものではなく、本ソフトウェアの選択、導入、使用、およびそれによって得られる結果については、すべてお客様の責任となります。

本契約書に記載のない保証条項が発見された場合、保証対象期間はお客様が本ソフトウェアを購入された日から90日以内とし、保証金額はお客様が本ソフトウェアの購入のためにお支払いいただいた金額を超えないものとします。

お客様が本契約を解除する場合、本ソフトウェアおよび関連印刷物のバックアップを含む一切を、物理的および電子的に読み取りできない状態で破棄するとともに、コンピュータ上の本ソフトウェアおよび関連印刷物の一切を消去するものとします。本契約は、本ソフトウェアに関してお客様とサイバーリンクとの間に締結され、台湾における法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、Taiwan Arbitration Act. に準ずるものとします

目次

はじめに	1
ようこそ!	2
主な機能	2
このバージョンでの新機能	4
ソフトウェアのアップグレード	5
ソフトウェアのアンインストール	6
スタート・メニューからのアンインストール	6
コントロール・パネルからのアンインストール	6
PowerDVD のプログラム	7
ドック・モードの主なコントロール機能	7
プレイヤーモードの主なコントロール機能	10
A/V オプションパッド	13
メニュー/ナンバーパッド	14
コントロール ホイール	16
ミニプレイヤーモードの主なコントロール機能	18
コントロールホイールモードの主なコントロール機能	20
HD DVD ホットキーと機能	21
その他ホットキーと機能	21
特殊キーボードの追加ホットキー	23
システム動作環境	24
操作パネル機能	27
基本的な操作パネル機能	28
再生中の操作	29
ジャンプ機能	29
シャトル早送りと巻戻し	29
コマ送り機能	30
タイムサーチ	31

お気に入りのシーンをブックマークする	31
操作パネルの詳細な機能	34
ディスクの再生	34
お気に入りのシーンのキャプチャ	34
ポップアップメニュー	34
フルスクリーン機能	35
音声切り換え	35
字幕表示	35
アングルの切り換え	36
お気に入りのシーンのリピート	36
カラオケ DVD の再生	37
プレイリストをシャッフルする	38
DVD-Video のメニューの使用	39
DVD-VR 形式でのメニューの使用	39
再生メニュー	40
メニュー / ナンバーパッドを使用	42
A/V オプションパッドの使用	42
エクスプレスメニュー	44
1. 基本操作	44
2. 画面表示	45
3. 拡張機能	46
4. メニュー表示	47
5. PowerDVD の操作	48
HD DVD でマウスを有効にする	49
マウスで iHD メニューを使用する	49

メディアの再生..... 51

リージョンコードの設定	52
DVD、HD DVD、Blu-ray の再生	53
DVD-VR ディスクの再生	55
VCD/SVCD の再生	56
オーディオ CD の再生	57
ファイルの再生	58
ドラッグ & ドロップによる再生	58

プレイリストの作成	59
ハードディスクのファイルを再生	62
設定	63
全般の設定	64
全般のアドバンス設定	66
オンスクリーン表示	66
スナップショット	68
キーボード / マウス	69
ファイル関連	71
ブックマーク	71
操作パネルの設定	75
映像設定	77
映像アドバンス設定	79
スマート デインターレース	79
デュアルディスプレイ	80
カラーコントロール	82
縦横比	83
ディスプレイ	85
音声出力設定	86
音声出力アドバンス設定	90
ヘッドフォン設定	90
2 スピーカ出力設定	94
4/6/7/8 スピーカ出力の設定	96
技術情報	100
Player Information	100
Display Information	100
Video attribute	101
Audio Attributes	102
Subpicture Attribute	102
Hardware Information	103
HD DVD の設定	104
アドバンス設定 - HD DVD	105

Blu-ray ディスクの設定	108
リージョン設定	109
モバイル電源設定 (オプション)	110
テクニカルサポート	113
テクニカルサポートにお問い合わせになる前に	114
Web サポート	115
電話サポート	115
電子メールサポート	116
索引.....	117

第 1 章：

はじめに

この章では、CyberLink PowerDVD の主な機能とソフトウェア・プログラムの概要について紹介します。このソフトウェアの稼動に必要なシステムの最小構成、および最新バージョンへのアップデート方法についても説明します。

この章は以下のセクションで構成されています。：

- ようこそ！ページの「2」
- ソフトウェアのアップグレード ページの「5」
- ソフトウェアのアンインストール ページの「6」
- PowerDVD のプログラム ページの「7」
- システム動作環境 ページの「24」

ようこそ！

CyberLink のホーム・エンターテイメント製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。CyberLink PowerDVD は、リビングルームのディスクプレイヤーの機能と操作性をコンピュータで提供する、ディスク再生ソフトウェアです。PowerDVD の提供するさまざまな機能を使って、ニーズに合わせた再生が行えます。先進のビデオ / オーディオ・テクノロジーにより、コンピュータで最高水準の映像とサウンドをお楽しみいただけます。

CyberLink PowerDVD Ultra は、HD DVD と Blu-ray ディスクを 1 つのプレーヤーに一体化しました。また CyberLink PowerDVD Ultra は、DVD、VCD、およびさまざまなファイル形式の再生をサポートします。

CyberLink PowerDVD Ultra では、PC での完璧なさまざまなムービーを体験できます。何もする必要はありません。ただお楽しみください。

主な機能

CyberLink PowerDVD の主な機能は以下のとおりです：

- 1 つのプレーヤーで HD DVD と Blu-ray ディスク両方の再生が可能
- DivX、DVD (MPEG-2)、DVD+VR、DVD-VR、DVD-Audio、VCD (MPEG-1)、SVCD、MiniDVD 形式、およびハードディスクドライブ (HDD) 上の DVD ファイルの再生をサポート。
- ダイナミックスクロールバーにより、瞬時にあらゆるシーンへのアクセスが可能。
- 独自のバイリンガルキャプション機能。
- CLEV-2 (CyberLink Eagle Vision2) : 明るすぎたり暗すぎたりするシーンの明るさ / コントラスト / 彩度のバランスを調整する映像技術。

- CLPV (CyberLink Pano Vision) : 画像中心部の歪みを最小限に抑えた映像ストレッチ技術。
- CyberLink Multi-channel Environment Impression technology (CLMEI-2) の採用 : ステレオ音声をマルチチャンネル出力に変換する音声チャンネル拡張技術。
- CyberLink Mobility Pack : ノートブック・コンピュータ上で、長時間のムービー再生を実現します。
- ロケーション・インジケータを備えた 9 倍 デジタルズーム。
- 気に入ったシーンをすぐにリピートできる、2 点間リピート機能。
- お気に入りブックマークの読み込み／保存。
- ブックマークされたシーンをサムネイル表示するブックマーク・ビューワ。
- より滑らかでクリアな映像をサポートするスマートビデオデインターレス機能。
- CLVS (CyberLink Virtual Speaker) : CyberLink 独自のバーチャル・サラウンド。
- CyberLink Headphone : ヘッドフォン対応のサラウンド音響技術。

このバージョンでの新機能

PowerDVD7 は次のような新機能を備えています：

- HD DVD 再生のサポート
- Blu-ray ディスクの再生サポート
- Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD
- DTS-ES、DTS Neo:6 (ディスクリット、マトリックス)、ACC デコーダー 5.1 Ch
- UPnP メディア・ネットワークのサポート。
- 5つのモードを備えた操作性の高い、フリースタイル・インタフェース。
- 直前の会話をすぐにリピートできる Say-It-Again。
- 字幕の位置を自由にコントロールできる Read-It-Clearly。
- See-It-All などのモバイル電源設定機能。
- VCPSやCPRMなどの最新のコンテンツ保護規格をサポート。
- MPEG-4 AVC (H.264) ハイビジョン映像のサポート
- DTS-ES、DTS 96/24、DTS NEO:6、AAC などの新しい音声規格のサポート。
- さらに強化された CyberLink Eagle Vision (CLEV-2) により、映像品質を向上。
- カスタマイズ可能な操作パネル

ソフトウェアのアップグレード

CyberLink では、定期的にソフトウェアのアップグレードと拡張機能を提供しています。

注: この機能を利用するには、インターネットへの接続が必要です。

ソフトウェアをアップグレードするには、以下の手順に従ってください:

1. アップグレード情報のダイアログ・ボックスを開くには、次のいずれかを行ってください:
 - **アップグレード**  ボタンをクリックする。
 - **F3** キーを押す。
 -  (設定) をクリックし、**アップグレード** をクリックすると、オプションがウィンドウに表示されます。



2. アップグレードしたい機能をクリックします。
3. ウェブ・ブラウザのウィンドウが開き、製品のアップグレードや拡張機能を購入できます。

ソフトウェアのアンインストール

CyberLink のソフトウェアをアンインストールする必要がある場合には、Windows のスタート・メニュー、またはコントロール・パネルからアンインストールが行えます。

スタート・メニューからのアンインストール

CyberLink のソフトウェアをスタート・メニューからアンインストールするには、次の手順に従ってください：

1. スタート>プログラム>[**CyberLink**のソフトウェア名]>[製品名]アンインストールの順にクリック。アンインストール・ウィザードが開きます。
2. アンインストール・ウィザードに従って、プログラムのアンインストールを行ってください。

コントロール・パネルからのアンインストール

CyberLink のソフトウェアをコントロール・パネルからアンインストールするには、次の手順に従ってください：

1. スタート>設定>コントロール・パネルの順にクリック。
2. プログラムの追加と削除をダブルクリック。
3. プログラム名を選択し、**変更 / 削除**をクリック。
4. アンインストール・ウィザードに従って、プログラムのアンインストールを行ってください。

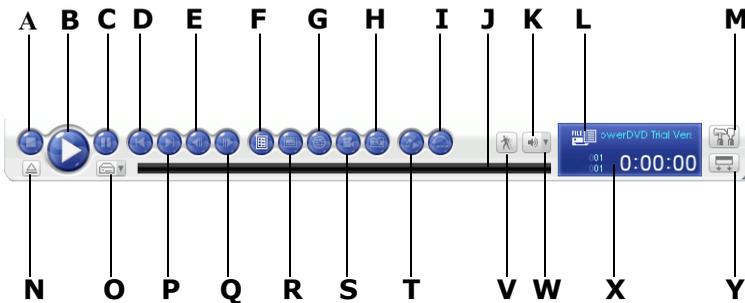
PowerDVD のプログラム

このセクションでは、PowerDVD のプログラムと各モードでの機能について説明します。

ドック・モードの主なコントロール機能

PowerDVD を起動すると、映像ウィンドウの下部に操作パネルが付属して表示されます。ドックモードは、映像ウィンドウと操作パネルを切り替えることなく、PowerDVD でよく使われる機能を操作できます。

映像ウィンドウから操作パネルを切り離すには、**プレイヤーパネルの切り離し**  をクリックしてください。映像ウィンドウに操作パネルを結合させるには、操作パネルを映像ウィンドウの下部にドラッグ&ドロップしてください。



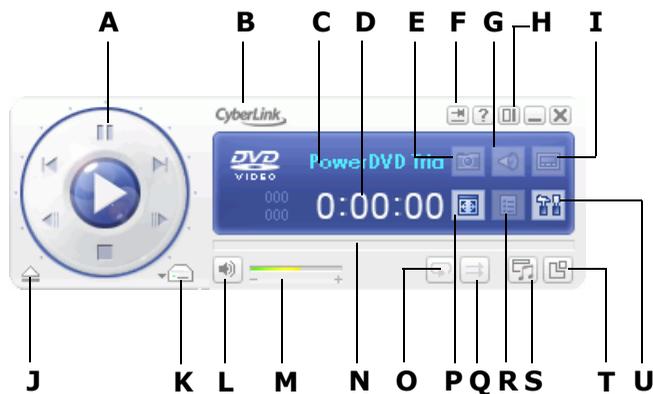
ボタン / アイコン	ショートカットキー	機能
A 停止	S	再生停止
B 再生	Enter	メディア再生

ボタン / アイコン	ショートカットキー	機能
C 一時停止	スペース	再生一時停止
D 前のチャプタ	P	前のチャプタに戻る
E コマ戻し	Ctrl+B, E	前のフレームに戻る
F メニュー	L	利用可能なすべての DVD メニューへのアクセス
G 音声切り換え	H	再生中の音声の切り換え
H スナップショット	C*	映像コンテンツをビットマップ形式などでキャプチャする (HD DVD、または Blu-ray ディスクが再生中はサポートされません)
I Say-It-Again	W	直前の会話をリピートする
J ダイナミックスクロールバー		経過時間の表示 ダイナミックスクロールバー上をクリックすることにより、任意の位置にジャンプ
K ミュート	Q	音量をミュート
L 再生中のコンテンツ		再生中のメディアタイプを表示
M 設定	Ctrl+C	設定を表示
N ディスク取り出し	Ctrl+E	ディスクドライブからのディスク取り出し

ボタン/アイコン	ショートカットキー	機能	
O	ドライブ/プレイモードの選択	Ctrl+O	再生するメディア・ソースの選択
P	次のチャプタ	N	次のチャプタにジャンプ
Q	コマ送り	T	次のフレームに進む
R	字幕切り換え	U	再生中の字幕切り換え
S	アングル切り換え	A	アングルの切り替え
T	See-It-All	Ctrl+S	See-It-All 機能を有効にするには、以下を参照してください。モバイル電源設定 (オプション) ページの「110」
V	スピード・コントロール		シャトル・スピード・コントロールの表示 / 非表示
W	音量の調整	+,-	音量を調整する
X	表示エリア		DVD タイトル / チャプタのナンバーと経過時間を表示
X	操作パネルのアンドック	Ctrl+T	操作パネルを映像ウィンドウからアンドックする

* HD DVD ホットキーマッピングが有効でない場合にのみホットキーは使用できません。"HD DVD ホットキーと機能" を参照してください。

プレイヤーモードの主なコントロール機能



ボタン/アイコン	ショートカットキー	機能
A		コントロールホイール ページの「16」を参照
B	Ctrl+A	PowerDVD に関する情報を表示
C		再生中のコンテンツを表示
D		DVD のタイトル/チャプタのナンバーと経過時間を表示
E	C*	映像コンテンツをビットマップ形式でキャプチャ (HD DVD、または Blu-ray ディスクが再生中はサポートされません)

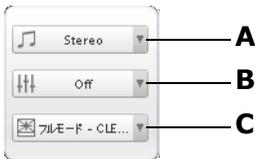
ボタン/アイコン	ショート カット キー	機能
F		常に手前に表示 再生ウィンドウを最前面 に表示
G	H	音声切り換え 再生中の音声の切り換え
H		コントロールホ イールモードへの 切り換え コントロールホイール モードへの切り換え
I	U	字幕切り換え 再生中の字幕切り換え
J	Ctrl+E	ディスク取り出し ディスクドライブからの ディスク取り出し
K	Ctrl+O	ドライブ/プレイ モードの選択 再生するメディア、ドラ イブの選択
L	Q	ミュート 音量ミュート
M	+, -	音量の調整 音量を調整する
N		ダイナミックスク ロールバー 経過時間のビジュアル表 示 スライダ上をクリック することにより、任意の 位置にジャンプ
O	Ctrl+R	リピート再生 タイトル、チャプタ、曲 などをリピート
P	Z	フルスクリーン表 示 フルスクリーンに切り換 え、ウィンドウモードに 戻す
Q	V	シャッフル トラックをランダムに再 生

	ボタン／アイコン	ショート カット キー	機能
R	メニュー	L	利用可能なすべての DVD メニューへのアクセス
S	A/V オプション・ パッド	.(ピリ オド)	A/V オプション・パッド の表示 / 非表示
T	メニュー / ナン バーパッド	/	メニュー / ナンバーパッド の表示 / 非表示
U	設定	Ctrl+C	設定を表示

* HD DVD ホットキーマッピングが有効でない場合にのみホット
キーは使用できます。"HD DVD ホットキーと機能"を参照してくだ
さい。

A/V オプションパッド

A/V オプションパッドを使用して、オーディオ出力モードの設定や、イコライザのプリセット、映像の設定などが行えます。A/V オプションパッドを表示するには、プレイヤーモードに切り替え、**A/V オプションパッドの表示**  をクリックしてください。詳しくは、A/V オプションパッドの使用 ページの「42」を参照してください。

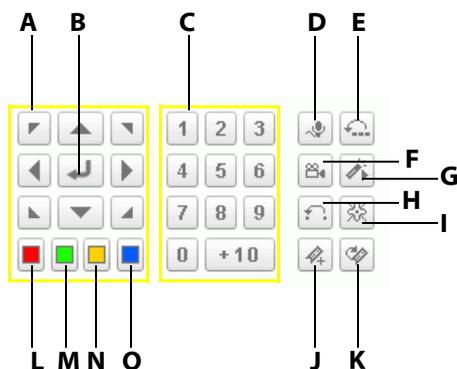


ボタン/アイコン	機能
A 音声の設定	利用可能なすべての音声出力モードを表示
B イコライザの設定	利用可能なすべての音声イコライザを表示
C 映像の設定	利用可能なすべての映像効果を表示

メニュー/ナンバーパッド

メニュー/ナンバーパッドには、ナビゲーション・ボタン、ナンバーパッド、その他の機能にアクセスするボタンがあります。メニュー/ナンバーパッドを表示するには、プレイヤーモードに切り換え、**メニュー/ナンバーパッドを表示**をクリックしてください。

 詳しくは、メニュー/ナンバーパッドを使用 ページの「42」を参照してください。

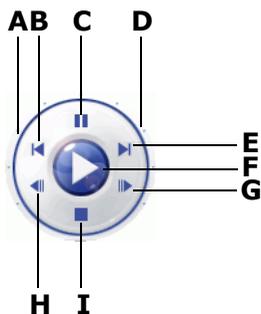


ボタン/アイコン	ショートカットキー	機能
A ナビゲーションボタン		DVD メニューでのナビゲーション
B Enter		選択したオプションの確認
C 1 - +10		ナンバーパッド
D カラオケ	K	カラオケモードへの切り換え
E Say-It-Again	W	直前の会話をリピート再生

	ボタン/アイコン	ショートカットキー	機能
F	アングル切り換え	A*	アングルの切り換え
G	See-It-All	Ctrl+S	See-It-All 機能を有効にする
H	2点間リピート	X	選択したシーンのリピート
I	視覚効果		CG 視覚効果を再生
J	ブックマークの追加	M	DVD のシーンをブックマークに追加
K	次のブックマーク	G	登録されたブックマークに移動
L			リモコンの赤色ボタンと同じです
M			リモコンの緑色ボタンと同じです
N			リモコンの黄色ボタンと同じです
O			リモコンの青色ボタンと同じです

* HD DVD ホットキーマッピングが有効でない場合にのみホットキーは使用できます。"HD DVD ホットキーと機能"を参照してください。

コントロール ホイール



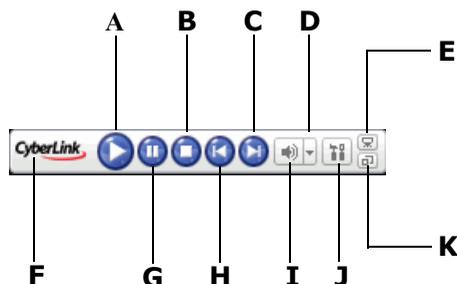
ボタン / アイコン	ショート カット キー	機能
A 巻き戻し	B*	巻き戻し。スピードを緑のポイントで表示。
B 前のチャプタ	P	前のチャプタに戻る
C 一時停止	スペー ス	一時停止
D 早送り	Tab, F	スピードを緑のポイントで表示。
E 次のチャプタ	N	次のチャプタへジャンプ
F 再生	Enter	メディアの再生
G コマ送り	T	次のフレームに進む (HD DVD、または Blu-ray ディスクが再生中はサポートされません)

ボタン/アイコン	ショートカットキー	機能
H コマ戻し	Ctrl+B	前のフレームに戻る (HD DVD、または Blu-ray ディスクが再生中はサポートされません)
I 停止	S	再生停止

ミニプレイヤーモードの主なコントロール機能

ミニプレイヤーモードでは、PowerDVD が最小化されている場合でも、基本的な再生機能へのアクセスが可能です。ミニプレイヤーモードが有効で、PowerDVD が最小化されている場合、再生コントロール機能も最小化され、Windows のタスクバー上に表示されます。

ミニプレイヤーモードを有効にするには、Windows のタスクバーの空きエリアを右クリックし、ツールバーを選択し、**PowerDVD 7** をクリックします。最小化 ボタンをクリックすると、ミニプレイヤーモードが有効になり、ミニプレイヤーモードを終了するボタンをクリックすると、ミニプレイヤーモードが解除されます。



ボタン / アイコン	ショートカットキー	機能
A 再生	Enter	メディアの再生
B 停止	S	再生停止
C 次のチャプタ	N	次のチャプタへジャンプ
D 音量の調整	+, -	音量を調整する
E ムービーの表示 / 非表示		ミニプレイヤー映像ウィンドウの表示 / 非表示

ボタン/アイコン	ショートカットキー	機能	
F	バージョン情報	Ctrl+A	PowerDVD についての情報を表示
G	一時停止	スペース	再生一時停止
H	前のチャプタ	P	前のチャプタに戻る
I	ミュート	Q	音量ミュート
J	設定	Ctrl+C	設定を表示
K	ミニプレイヤーモードを終了する		ミニプレイヤーモードの解除

コントロールホイールモードの主なコントロール機能

コントロールホイールモードでは、コントロールホイールを利用して基本的な再生操作が行えます。コントロールホイールモードに切り替えるには、**Control Wheel** モードの切り替えをクリックしてください。コントロールホイールモードを解除するには、**PowerDVD Player** への切り換えをクリックしてください。



	ボタン / アイコン	ショートカットキー	機能
A	PowerDVD Player に切り替え		PowerDVD Player モードに切り替え
B	コントロールホイール		コントロールホイールページの「16」を参照
C	ディスク取り出し	Ctrl+E	ディスクドライブからのディスク取り出し
D	ドライブ / プレイモードの選択	Ctrl+O	再生するメディア、ドライブの選択

HD DVD ホットキーと機能

HD DVD ホットキーには、いくつかの HD DVD タイトルを再生中に使用される特殊ホットキーが含まれています。

注: Blu-ray ディスクタイトルの再生中にこれらホットキーを使用することができません。

HD DVD ホットキーの作動に関しては、85 ページの HD DVD 構成 (オプション) を参照してください。

ホットキー	説明
Alt + A	必要に応じて使用可能なアングルに切り替えます。
Alt + B	シャトルは緑の点で示されている増分速度で反転します。
Alt + C	ビットマップ画像としてビデオコンテンツをキャプチャします (HD DVD 再生中はサポートされません)
Alt + D	DVD 再生詳細を切り替えます

その他ホットキーと機能

ホットキー	説明
Ctrl+D	セカンダリオーディオの有効 / 無効
Ctrl+G	PG testST の有効 / 無効
Ctrl+N	CyberLink PowerDVD Ultra の最小化

ホットキー	説明
Ctrl+P	Blu-ray ディスクタイトルのみのポップアップメニューの表示 / 非表示
Ctrl+U	2 番目の字幕の有効 / 無効
Ctrl+V	セカンダリビデオの有効 / 無効
Ctrl+W	ビデオ再生が一時停止されている場合に対話型メニューが有効である場合は、ビデオは再開します。
Ctrl+X	CyberLink PowerDVD Ultra プログラムを閉じる / シャットダウン
Ctrl+Y	2 番目の字幕位置を変更する
Shift+Esc	キャンセル
F3	Dolby Headphone
F5	デジタルズーム
F6	前のシーン (シーンを検出するのに CyberLink Rich Video を使用する)
F7	スキップコマンド (コマーシャルを検出するのに CyberLink Rich Video を使用する)
F8	次のシーン (シーンを検出するのに CyberLink Rich Video を使用する)
D*	DVD 再生詳細の切り替え
J	DVD ルートメニューに移動
R	ルートメニューに移動 / 戻る

* HD DVD ホットキーマッピングが有効でない場合にのみホットキーは使用できません。"HD DVD ホットキーと機能"を参照してください。

特殊キーボードの追加ホットキー

CyberLink PowerDVD は追加キーを含んでいるキーボードを使用しているコンピュータにホットキーを提供します。

ホットキー	説明
選択 (Select)	選択したオプションを承認します
戻る (Prior)	タイムシーク 5 秒戻る
進む (Next)	タイムシーク 5 秒進む
アプリケー ションソフ トウェア (Apps)	コンテキストメニューの表示

システム動作環境

このソフトウェアをインストールする前に、お使いのコンピュータ・システムが以下のシステム動作環境の基準を満たしているかを確認してください：

サービスパック 2 がインストールされた Windows XP

CPU

- Intel:
最小：Pentium 4 541 (3.2G)、Pentium D 840 (3.2G)、Pentium D 930 (3.0G)、または 940 (3.2G)、Core Duo T2400 (1.83G)、Pentium M 755 (2.0G)
推奨：Pentium EE 840 (3.2G) または 955 (3.4G)、Pentium D 945 (3.4G)、950 (3.4G)、または 960 (3.6G)、Core Duo T2500 (2G)、T2600 (2.16G)、または T2700 (2.33G)、Core 2 Duo E6300 (1.8G)、E6400 (2.13G)、E6600 (2.4G)、E6700 (2.66G)、または X6800 (2.93G)
- AMD:
最小：Athlon 64 X2 3800+ (2G) または 4000+ (2G)、Turion 64 X2 TL-50 (1.6G)、TL-52 (1.6G) または TL-56 (1.8G)
推奨：Athlon 64 FX FX-60 (2.6G) または FX-62 (2.8G)、Athlon 64 X2 4200+ (2.2G)、4400+ (2.2G)、4600+ (2.4G)、4800+ (2.4G) または 5000+ (2.6G)、Turion 64 X2 TL-60 (2.0G)

システムメモリ (RAM)

- 512MB 以上、1GB 推奨

ディスクドライブ

- スーパーマルチ Blue ディスクドライブ
- BD-ROM
- HD DVD-ROM

グラフィックカード (GPU)

- nVidia: GeForce 6600 GT、GeForce 7600 GT、GeForce 7800 GTX 512、GeForce 7900 GX2、GeForce 7900 GTX、GeForce 7950 GX2
- ATI: X1600 シリーズ、X1800 シリーズ、X1900 シリーズ
 - ドライバの推奨バージョンは 8.332 以上
- ビデオRAM: グラフィックカードメモリは256MB以上が必要です。

注: グラフィックカードのドライバは必ず最新のバージョンにアップデートしてください。

ディスプレイデバイス

- デジタル出力用 HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection) 準拠ディスプレイ
- アナログ出力用 TV またはコンピュータモニタ

Windows Vista

CPU

- Intel:
 - 最小: Pentium 4 541 (3.2G)、Pentium D 840 (3.2G)、Pentium D 930 (3.0G)、または 940 (3.2G)、Core Duo T2400 (1.83G)、Pentium M 755 (2.0G)
 - 推奨: Pentium EE 840 (3.2G) または 955 (3.4G)、Pentium D 945 (3.4G)、950 (3.4G)、または 960 (3.6G)、Core Duo T2500 (2G)、T2600 (2.16G)、または T2700 (2.33G)、Core 2 Duo E6300 (1.8G)、E6400 (2.13G)、E6600 (2.4G)、E6700 (2.66G)、または X6800 (2.93G)
- AMD:
 - 最小: Athlon 64 X2 3800+ (2G) または 4000+ (2G)、Turion 64 X2 TL-50 (1.6G)、TL-52 (1.6G) または TL-56 (1.8G)
 - 推奨: Athlon 64 FX FX-60 (2.6G) または FX-62 (2.8G)、Athlon 64 X2 4200+ (2.2G)、4400+ (2.2G)、4600+ (2.4G)、4800+ (2.4G) または 5000+ (2.6G)、Turion 64 X2 TL-60 (2.0G)

システムメモリ (RAM)

- 1GB 推奨

ディスクドライブ

- スーパーマルチ Blue ディスクドライブ
- BD-ROM
- HD DVD-ROM

グラフィックカード (GPU)

- nVidia: GeForce 6600 GT、GeForce 7600 GT、GeForce 7800 GTX 512、GeForce 7900 GX2、GeForce 7900 GTX、GeForce 7950 GX2
 - ドライバの推奨バージョンは 97.57 以上
- ATI:
 - 最小 : X1600 シリーズ、
 - 推奨 : X1800 シリーズ、X1900 シリーズ
 - ドライバの推奨バージョンは 8.31.100.3 以上
- ビデオRAM: グラフィックカードメモリは256MB以上が必要です。

注 : グラフィックカードのドライバは必ず最新のバージョンにアップデートしてください。

ディスプレイデバイス

- デジタル出力用 HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection) 準拠ディスプレイ
- アナログ出力用 TV またはコンピュータモニタ

第 2 章：

操作パネル機能

この章では、PowerDVD の操作パネル機能について説明します。PowerDVD では、ドックモードやコントロールホイールモードなど、様々な操作パネルを使用することができます。

この章は、次のセクションで構成されています：

- 基本的な操作パネル機能 ページの「28」
- 再生中の操作 ページの「29」
- 操作パネルの詳細な機能 ページの「34」
- エクスプレスメニュー ページの「44」
- HD DVD でマウスを有効にする ページの「49」

基本的な操作パネル機能

PowerDVD には、ディスクプレーヤーのリモコンのような操作パネル機能があります。基本再生コントロールは、PowerDVD のすべてのモードで利用でき、操作のしやすいものになっています。基本再生コントロールには次の機能があります：

ボタン	機能	説明
	再生	挿入されたディスクやプレイリストから選択したファイルの再生をする
	停止	再生を停止する
	一時停止	再生を一時停止する もう一度再生する場合は、再生をクリックしてください。
	次のチャプタ	次のチャプタにジャンプします。詳細については、ジャンプ機能 ページの「29」を参照してください。
	前のチャプタ	前のチャプタにジャンプします。詳細については、ジャンプ機能 ページの「29」を参照してください。
	コマ送り	次のフレームに移動します。詳細については、コマ送り機能 ページの「30」を参照してください。
	コマ戻し	前のフレームに移動します。詳細については、コマ送り機能 ページの「30」を参照してください。
	ディスク取り出し	ディスクドライブからディスク取り出し

再生中の操作

ある特定のチャプタをスキップしたい場合や、任意のシーンに戻したい場合などの操作を PowerDVD は簡単に行うことができます。

ジャンプ機能

再生中、再生や一時停止モードで次のチャプタ  や前のチャプタ  をクリックすると、次のチャプタや前のチャプタにジャンプすることができます。これらのボタンを使って、プレイリストに追加されているファイルをジャンプすることもできます。

ジャンプメニュー

クリックするだけで、ショートカットメニューを呼び出すこともできます。

1. 再生中にマウスで、次のチャプタなどの任意のジャンプ機能を右クリックすると、オプションが表示されます。
2. ここでは表示されるのはチャプタのメニューのみで、タイトルのメニューは表示されません。ファイルを再生している場合には、ファイル名が表示されます。

▼チャプタ1
チャプタ2
ブラウザ...
ブックマークビュー

シャトル早送りと巻戻し

タイトル、あるいはチャプタのジャンプ以外に、シャトルでの早送り/巻戻しを行うことができます。この機能により快適に DVD を試聴することができます。詳細については、コントロール ホイール ページの「16」を参照してください。

1. 再生中に外周をクリックすると、さまざまな速度で操作が行えます。速度はオンスクリーン表示で行われます。
2. 外周の左側は巻戻し速度（0.5、0.75、1、1.5、2、3、4、8、16、32）を、外周の中央のポイントは一時停止を、外周の右側は早送り速度（0.5、0.75、1、1.5、2、3、4、8、16、32）を示します。
3. シャトルを利用するには、ドック・モードで**スピードコントロールを開く (pic)** アイコンをクリックしても行えます。スピードコントロールバーが表示され、バー上のポイントで速度が示されます。中央のポイントは一時停止になり、その位置より下は巻戻し速度（0.5、0.75、1、1.5、2、3、4、8、16、32）を、中央より上は早送り速度（0.5、0.75、1、1.5、2、3、4、8、16、32）を示します。
4. **スピードコントロールを閉じる** アイコンをクリックすると、スピードコントロールバーが閉じられます。



注：スローモーション速度（0.5 倍、逆再生 0.5 倍）は、一時停止と 1 倍（再生）および逆再生 1 倍との間に示されます。的確な位置をクリックしてください。

注：0.5 ～ 2 倍速再生では、再生速度に合わせたスピードで音声を聴くことができます。語学の学習には便利な機能です。2 点間リピートとバイリンガルキャプション技術を組み合わせれば、完全な語学学習に最適です。

コマ送り機能

この機能はいつでも利用できます。

1. 再生中に、**コマ送り**  をクリックすると、次のフレームに、**コマ戻し**  をクリックすると、**I フレーム**  に移動します。
2. コマ送り / 戻し機能ををクリックすると、一時停止の状態になります。

注：このコマ戻し機能では、同一フレーム・グループ内のI-フレーム毎に戻ります。つまり、コマ送りはコマ戻しに比べ、細かくフレームを移動させる事が可能です。

タイムサーチ

ムービー、映像、音楽のディスク上の指定した時間から再生をスタートさせることができます。

1. ダイナミックスクロールバーを右クリックしてください。タイムサーチのダイアログボックスが開きます。
2. タイムコード(時間/分/秒)を入力し、**OK**をクリックします。入力したタイムコードの位置から、再生を開始します。

お気に入りのシーンをブックマークする

ディスクタイトルの再生中に、お気に入りのシーンをブックマークし、後で参照することができます。特定のシーンを再び観たいときにはいつでも、PowerDVD で簡単に再生できます。

1. 再生中に、メニューパッドを開き、お気に入りのシーンで **ブックマークの登録**  をクリックします。
2. **ブックマークに移動**機能で、 追加したブックマークに移動します。ブックマークを追加していないディスクタイトルの場合はグレイアウトしています。
3. ブックマークファイルの読み込み、保存については、ブックマーク ページの「71」を参照してください。

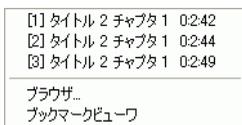
ブックマーク・メニュー

DVD のメニューの様に、ブックマークもメニュー表示ができます。

削除 [1] タイトル 2 チャプタ 1 02:42
削除 [2] タイトル 2 チャプタ 1 02:44
削除 [3] タイトル 2 チャプタ 1 02:49
ブックマークをすべて削除

1. カーソルを映像ウィンドウに移動し、右クリックでエクスプレスメニューを開いてください。ブックマークを選択すると、ブックマーク・メニューにアクセスできます。
2. 古いブックマークを削除するには、個々のブックマークをクリックして削除することもできます。また**すべて削除**を選択して、一度にすべてを削除することも可能です。

ブックマークに移動  機能は、エクスプレスメニューなどでも選択することができます。



1. メニューパッドを有効にし、カーソルをブックマークに移動させ、メニューを右クリックしてください。
2. ブックマークへの直接のリンクが利用できます。ブラウザで、チャプタに追加されたブックマークが表示されます。



3. チャプタかブックマークを選択し、**移動**をクリックしてください。
4. ブックマークを削除するには、削除したいブックマークを選択して**削除**をクリックします。
5. **閉じる**をクリックして、終了します。

6. **ブックマークビューワ**を選択した場合、ブックマークビューワが各ブックマークの最初のシーンを表示します。
 - ブックマークのサムネイルの名前を変更するには、サムネイルを右クリックし、**編集**を選択してください。名前を入力し、**OK**をクリックします。

操作パネルの詳細な機能

各ボタンの詳細については、ドック・モードの主なコントロール機能 ページの「7」またはプレイヤーモードの主なコントロール機能 ページの「10」を参照してください。

注：使用中のモードにより、操作パネル機能は異なります。ミニプレイヤーモードでは基本的なコントロールに限られますが、プレイヤーモードでは A/V 出力パッドとメニュー/ナンバーパッドが有効になるため、すべてのボタン機能を利用できます。

ディスクの再生

PowerDVD では、ディスクドライブにディスクを挿入するだけで、ディスクを自動再生します。DVD を手動でスタートさせるには、**ドライブ/プレイモード選択**ボタン  をクリックし、ディスクタイトルが挿入されたドライブを選択してください。

お気に入りのシーンのキャプチャ

1. 再生中にスナップショットボタン  をクリックするだけで、映像コンテンツを静止画像としてキャプチャできます。
2. より的確に行うには、スローモーション再生かコマ送りでシーンを一時停止してからキャプチャしてください。

注：キャプチャした画像の保存先は、設定画面で変更できます。詳細については、スナップショット ページの「68」を参照してください。

注：HD DVD および Blu-ray ディスクタイトルの再生中はこの機能は使用できません。

ポップアップメニュー

HD DVD/Blu-ray ディスクのタイトルによっては、シーンの選択やその他機能を簡単に使用することができるポップアップメニュー オプションを使用することができます。ポップアップメニューボタン

 をクリックすると、再生中のコンテンツに関するメニューが表示されます。

フルスクリーン機能

フルスクリーン機能は、 フルスクリーンモードとウィンドウモードとの切り替えを行います。

注：フルスクリーンモードでは、PowerDVD の操作パネルが表示されません。再生操作パネルを表示する場合は、再生画面上でマウスを動かしてください。

音声切り換え

この機能は再生中に使用できます。再生中に**音声切り換え** ボタン

 をクリックして、音声（各種言語など）を切り替えることができます。ディスクタイトルにより、収録音声の数は異なります。

字幕表示

字幕言語はディスクタイトルにより異なります。字幕機能は再生時にのみ使用できます。

再生中に、 字幕切り換えをクリックしてください。

外部字幕の読み込み

ビデオファイル（ディスクのでない）を再生中、CyberLink PowerDVD Ultra はビデオファイルがある場所と同じディレクトリから字幕ファイルを検索します。ファイルが見つければ、字幕が読み込まれ、エクスプレス・メニューに**字幕**オプションが表示されます。
※ DivX6 の字幕はサポートしていません。

アングルの切り換え

マルチアングルで収録されたディスクで利用できます。再生中にアングル切り換え  をクリックすると、アングルが切り換わります。PowerDVD では、新しいアングルを設定する度、観られているアングルを表示します。エクスプレスメニューを使って表示アングルを変更することもできます。

お気に入りのシーンのリピート

PowerDVD には、お気に入りのシーンをリピート再生する機能があります。

1. プレーヤモードに切り替え、メニューパッドを有効にします。再生中にリピート再生  をクリックすると、そのチャプタをリピートします。
2. タイトルをリピートするには、リピート再生  をダブルクリックしてください。もう一度クリックすると、リピート再生がオフになります。

Say-It-Again

Say-It-Again 機能を使って、再生中の会話をリピートすることもできます。Say-It-Again を使用するには次の手順で行ってください：

1. 再生中に **Say-It-Again**  をクリックすると、会話をリピートします。
2. もう一度クリックすると、**Say-It-Again** がオフになります。

2 点間リピート

PowerDVD には、カスタマイズ可能なリピート機能があり、ムービーのどの部分でもリピート設定することができます。リピートには、始点と、終点を設定します。これは、再生中の会話の再生しか行わない Say-It-Again とは異なる機能です。

注：HD DVD および Blu-ray ディスクタイトルの再生中はこの機能は使用できません。

1. 再生中に、**2点間リピート**  をクリックし、始点を設定します。
2. 再び**2点間リピート**  をクリックし、終点を設定します。設定された部分はすぐにリピートされ、何度も繰り返されます。
3. 2点間リピートをキャンセルするには、**2点間リピート** ボタン 、リピート ボタン  をクリックするか、ダイナミックスクロールバー、シャトル、前後のチャプタへの移動、などを操作してください。

カラオケ DVD の再生

PowerDVD では、カラオケ DVD も再生できます。ディスクタイトルパッケージの、カラオケロゴを確認してください。

カラオケ・オプションの選択

1. カラオケディスクの挿入時には、マイクが正しくインストールされていることを確認してください。
2. **再生**  をクリックすると、メニュー画面が表示されます。表示されない場合には、**ドライブ/プレイモードの選択**  をクリックし、正しいドライブを選択してください。
3. メニューパッドのナビゲーションボタンを使用するか、 曲をマウスでクリックします。
4. 再生中に、メニュー・パッドを有効にし、**カラオケ**  をクリックするか、右クリックでエクスプレス・メニューから**カラオケ**を選択してください。
5. 次のオプションがあります：ボーカルが二つ入っているものは、(**ボーカル 1+2**)をオンにする、あるいは**ボーカル 1**または

ボーカル **2** をオンにする、どちらもオフ (ボーカル・オフ) にする

カラオケメニュー

1. カラオケ  にカーソルを移動させ、右クリックでメニューを表示し、
2. オプションを選択してください。

キーコントロール

キーコントロール機能を使って、カラオケのキーを調節できます。

次の手順で調節してください：

1. カラオケ  にカーソルを移動させ、右クリックでメニューを表示します。
2. キーコントロールを選択し、キーを選択します。

プレイリストをシャッフルする

シャッフルボタンを使用して、プレイリストのファイルをランダムに再生することができます。

1. シャッフルを利用するために、プレーヤーモードに切り換えてください。
2. 音声ファイル等を選択しシャッフル  をクリックします。
3. 再生  をクリックすると、ファイルはランダム再生されます。

DVD-Video のメニューの使用

1. ディスクを再生させてから、本編再生中にメニュー  をクリックすると、メニューが表示されます。メニューはディスクのタイトルにより異なります。

タイトルメニュー ルートメニュー 字幕メニュー 音声メニュー アンクルメニュー チャプタメニュー レジューム
--

- ディスクタイトルによっては、**タイトル**と**ルートメニュー**が同一の場合があります。その他に字幕メニューや音声メニューなどを表示することができます。
- 字幕を表示するには、**字幕メニュー**を選択し、オプションを選択してください。
- **音声メニュー**で音声言語をコントロールできます。音声設定を行うにはこのメニューにアクセスしてください。

注：ディスクタイトルによっては、タイトルメニュー以外のメニューを選択できない場合があります。この場合、そのディスクのタイトルメニューに移動し、そこで各メニューにアクセスしてください。

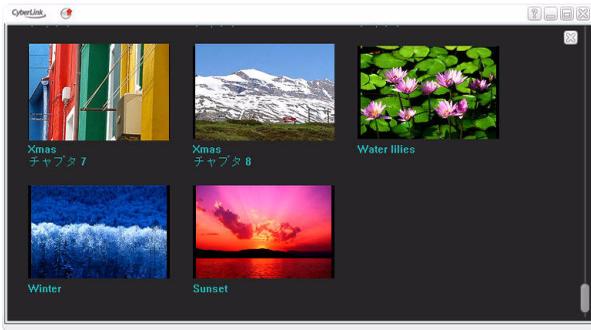
- **レジューム再生**を選択すると、再生を中断した位置から開始することができます。この機能は、メニューにジャンプして再生が中断され、元の再生位置に戻りたい場合に便利な機能です。

注：HD DVD および Blu-ray ディスクタイトルの再生中はこの機能は使用できません。

DVD-VR 形式でのメニューの使用

1. DVD-VR を再生させてから、メニュー  をクリックしてください。

2. **VR プログラムセットビューワ**を選択すると、各セルの最初のフレームの画像を表示できます。



3. フレームをクリックすると再生がスタートし、**終了**をクリックすると、ビューワが終了します。
 - プレイリストを作成している場合、ここで選択することが可能です。

再生メニュー

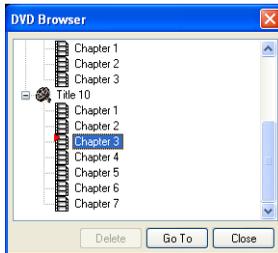
もうひとつの便利な機能として、いつでも使用できる、タイトルやチャプタのショートカット・メニューがあります。

注：DVD-VR ムービーの再生中、「タイトル」や「チャプタ」は、「プログラム」や「セル」という用語で表示されます。

1. **再生**  にカーソルを移動させます。
2. 右クリックでメニューを表示します。
3. チェックマークが再生中のタイトルを示し、タイトルの右矢印がチャプタ形式の選択リストを示します。
4. 再生するチャプタをクリックしてください。

ブラウザ

- 再生メニューの**参照**を選択して、タイトルとチャプタ間を移動することもできます。



- 現在再生中のチャプタは、赤いポインタで示されます。チャプタを選択し、**移動する**をクリックして移動したり、**終了**をクリックして終了させることもできます。

ビューワ

チャプタメニューには**参照**の選択の他、**ビューワ**の選択機能もあります。ビューワとブラウザは、ビューワでは各チャプタの最初のシーンがビジュアル表示されるという点で異なります。

- いったん再生メニューを呼び出してから、**ビューワ**をクリックしてください。
- ビューワが表示されます。画像をクリックすると、再生を開始します。終了するには終了をクリックします。 



メニュー / ナンバーパッドを使用

PowerDVD には再生したいトラックを直接入力できるナンバー・パッドがあります。このパッドを表示するには、プレーヤーモードに切り換え、メニュー / ナンバーパッドを開く  をクリックします。

1. オーディオ CD を挿入してから、再生したいトラックのナンバーを入力してください。入力されたものは表示エリアに表示されます。



2. 再生  をクリックします。

A/V オプションパッドの使用

A/V オプション・パッドを使用して、音声モード、イコライザ・プリセット、映像設定が変更できます。



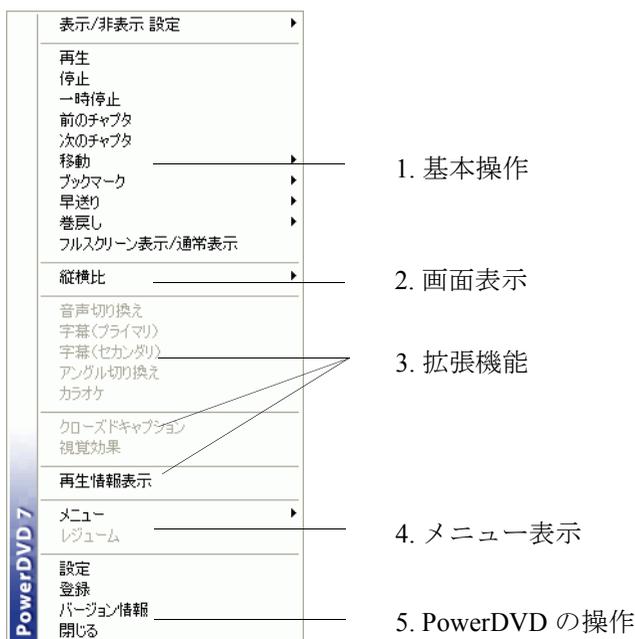
このパッドを表示するには、**A/V オプションパッドを開く**  をクリックします。以下のオプションが選択できます。

- **音声の設定** : デフォルトの音声モードから音声出力を選択します。設定オプションについては、音声出力アドバンス設定ページの「90」を参照してください。

- **イコライザの設定**：デフォルトのイコライザ設定オプションから選択します。
- **映像の設定**：デフォルトの映像設定から選択します。設定オプションについては、音声出力アドバンス設定 ページの「90」を参照してください。

エクスプレスメニュー

再生中にビデオ画面上で右クリックすると、すばやく簡単に操作できるエクスプレスメニューが表示されます。エクスプレスメニューはグループ化されています。これらのグループは表示 / 非表示させることができます。



1. 基本操作

- 基本的な再生操作 (再生、停止、一時停止など) については、終了 : PowerDVD を終了します。ページの「48」で説明しています。

- **移動** は、再生やジャンプ機能を右クリックすると表示されるメニューリストとほぼ同様です。この機能は、ブラウザやビューワを含む、全タイトルおよびそれらのチャプタのリストを表示します（再生メニューページの「40」を参照）
- **ブックマーク** ブックマークボタンやメニューと同様の機能を持ちます。（詳細については、お気に入りのシーンをブックマークするページの「31」を参照してください）
- **フルスクリーン機能**については、フルスクリーン機能ページの「35」で説明しています。

2. 画面表示

縦横比

縦横比を保持するオプションでは、映像コンテンツの縦横比を保持するため、レターボックスが適用されます。

画面に合わせてストレッチする

画面に合わせてストレッチするオプションでは、ムービーを画面サイズに合わせます。

CLPV

CLPV 収録されている画面比率と異なる縦横比の画面サイズで再生する場合、特殊な伸縮処理を行い、違和感なくコンテンツを表示させる機能です。スマートストレッチ、フィットスクリーン、字幕保持のオプションから選択してください。

パンスキャン

パンスキャン機能は、フルスクリーンモードでのみ使用可能な16:9タイトル向けの機能です（例えば、4:3のモニターでの16:9のタイトルを再生する場合）。この機能により、レターボックスの画面とは異なり、TV番組のように上下の黒い帯なしに表示することができますが、画面に表示されない部分が発生します。デフォルトのパ

ンスキャンの表示位置は中央に設定されているので、左右の一部がトリミングされます。

注：映像画面をクリックして、画面を左右にドラッグすることが可能です。

デジタルズーム

お気に入りのシーンをズームする機能です。

1. DVD再生中に、フルスクリーンモードで使用できます。
2. 右クリックでエクスプレス・メニューを表示し、**デジタル・ズーム > 4 倍**または**9 倍**を選択します。
3. ここで、画面をクリックし、ズームインしたいエリアにドラッグします。画面左上に、通常の画面モード（黄色の枠）に対応するズームされたエリア（緑の枠）が表示されます。
4. フルスクリーンモードに戻るには、エクスプレスメニュー（右クリック）に戻り、**デジタルズーム > オフ**を選択してください。

3. 拡張機能

字幕メニュー

- **字幕（プライマリ）**メニューは、デフォルトの字幕を設定するメニューです。字幕（プライマリ）は通常、画面下部に表示されます。
- **字幕（セカンダリ）**メニューは、ユーザの選択により、デフォルトの字幕と並んで表示することがきる追加字幕です。



Read-It-Clearly

Read-It-Clearly 機能を使用すると、字幕の位置を移動させることができます。

1. 再生中に映像画面へカーソルを移動し、右クリックでエクスプレスメニューを表示してください。**字幕（プライマリ）**または

字幕（セカンドリ）を選択し、**Read-It-Clearly** を選択してください。

2. **Read-It-Clearly** メニューでは、次のオプションが選択できます：

- **標準**では、デフォルトの位置に表示します。
- **シネマスコープサイズ (2.35 : 1)** では、縦横比 2.35 : 1 のシネマスコープサイズに合わせた位置で表示します。
- **ビスタサイズ (1.85 : 1)** では、縦横比 1.85 : 1 のビスタサイズムービーに合わせた位置で表示します。
- **字幕 (プライマリ)** で**下部**を選択すると、画面の最下部に表示します。
- **字幕 (セカンドリ)** で**上部**を選択すると、画面の最上部に表示します。

クローズドキャプション

クローズドキャプションは聴覚障害者向けの機能です。この機能をサポートしているディスクタイトルであれば、テキスト形式で映像上に表示できます（英語が表示されます）。

視覚効果

視覚効果 機能により、音楽を聴きながら、視覚効果を見ることができます。再生モードでの視覚効果コマンドへは、メニューパッドで**視覚効果** ボタンをクリックすると設定できます。

再生情報表示

オンスクリーン表示による**情報表示**では、画像ビットレートや、Dolby Digital 5.1、Dolby Digital 2.0、DTS 5.1 などの音声タイプやビットレート、時間 / チャプタ / タイトルを表示します。

4. メニュー表示

- **メニュー選択** や**レジューム** の選択については、DVD-Video のメニューの使用 ページの「39」を参照してください。

5. PowerDVD の操作

- 設定の詳細については、設定 ページの「63」を参照してください。
- 登録
- バージョン情報 : PowerDVD のバージョン情報を表示します。
- 終了 : PowerDVD を終了します。

HD DVD でマウスを有効にする

HD DVD でマウスを有効にすることで、HD DVD タイトルに提供されている iHD メニューから操作することができます。これらポップアップメニューは、HD DVD コンテンツが再生中にそのコンテンツ上の設定、シーンの選択、特殊機能などへのインスタントアクセスを提供します。この iHD メニューを標準のマウスを使用して操作することはできませんが、キーボードの矢印キーや HD DVD でマウスを有効にすることで操作することができます。

注： Blu-ray ディスクタイトルの再生中にこの機能は使用できません。

CyberLink PowerDVD が HD DVD タイトルの挿入を検出すると、HD DVD でマウスを有効にするかどうかのメッセージが表示されます。

はいをクリックすると、マウスが有効になり HD DVD タイトルの再生中にマウスを使用することができます。

注： 有効になると、マウスは HD DVD タイトルが表示されている場合に常時使用することが可能になります。無効にするには、"HD DVD の設定" を参照してください。

マウスで iHD メニューを使用する

マウスが HD DVD で有効になっている場合は、iHD メニュー内で次のマウス操作を行うことができます。

- **上/下/左/右** - マウスの左ボタンをクリックして押したままで4つの方向のいずれかに移動してメニューを操作します。
- **選択/クリックボタン** - マウスの左ボタンを1回クリックして対象ボタンを選択します。

注： 正確な動作と iHD メニューで使用できる機能は、個々の HD DVD タイトルに完全に依存します。

第 3 章 :

メディアの再生

この章では、さまざまなソースの異なるタイプのメディアを再生する方法について説明します。

この章は次のセクションで構成されています。:

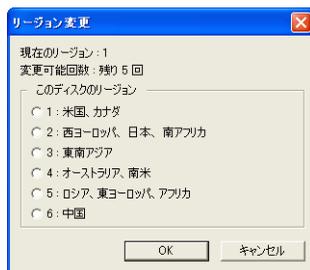
- リージョンコードの設定 ページの「52」
- DVD、HD DVD、Blu-ray の再生 ページの「53」
- DVD-VR ディスクの再生 ページの「55」
- VCD/SVCD の再生 ページの「56」
- オーディオ CD の再生 ページの「57」
- ファイルの再生 ページの「58」
- ハードディスクのファイルを再生 ページの「62」

リージョンコードの設定

販売されているディスクタイトルのほとんどは、世界を6つの地域に分割したリージョンコードという地域コードによって規制されています。

注：DVD タイトルと Blu-ray ディスクタイトルのリージョンコードは異なります。Blu-ray ディスクのリージョンコードに関する詳細は、リージョン設定 ページの「109」を参照してください。

1. ディスク挿入時に、ダイアログボックスが表示されたら再生する地域を確認してください。



2. OK をクリックしてください。一度地域を設定すれば、他のリージョンコードの DVD を挿入する場合を除き、再設定する必要はありません。

注：PowerDVD では、リージョンコードの設定を5回まで行うことができます。リージョンコード確定後は、その地域の DVD しか再生できなくなります。リージョンフリーの DVD もあります。



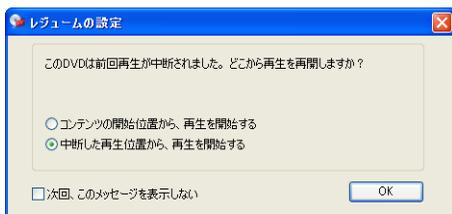
DVD、HD DVD、Blu-ray の再生

ビデオの再生方法について説明します。

1. ディスクを挿入し、再生  をクリックしてください。ディスクが挿入されているドライブが正しく選択されているかを確認をしてください。もし正しく選択されていない場合は、**ドライブ／プレイモードの選択**  をクリックし、正しいドライブを選択してください。
2. ディスクタイトルによっては、警告メッセージや著作権情報が表示されます。これらは通常、スキップすることはできません。
3. プロモーションコンテンツの次が、メインメニューです。マウスでクリックし、メニューを選択してください。
4. 再生を開始します。
5. メニュー／ナンバーパッドを使用するには、プレーヤモードで **メニュー／ナンバーパッドを開く**  ボタンをクリックしてください。メニュー／ナンバー・パッドが画面右側に表示されます。
6. **停止**  や**一時停止**  をするには、各ボタンをクリックしてください。

ディスクタイトル再生中に停止や閉じるをクリックした場合、次に他のファイルやディスク等を再生しても、そのタイトルの次回再生時には、**レジューム設定**により、最後に停止した位置から再生することができます。このレジューム設定機能は、停止位置を記憶する

ので、同時に複数のディスクを再生する際や、PowerDVD を途中終了した時には便利な機能です。



DVD-VR ディスクの再生

1. ディスクを挿入してください。

2. **再生**  をクリックします。DVD の再生がスタートします。

プログラム 1 ▶
プログラム 2 ▶
プログラム 3 ▶
プログラム 4 ▶
プログラム 5 ▶
プログラム 6 ▶

3. 右クリックで**エクスプレスメニュー**から再生させることもできます。プログラムを選択すると、選択可能なセルが表示されます。実行したいセルをクリックしてください。

4. **停止**  や**一時停止**  をするには、ボタンをクリックしてください。

VCD/SVCD の再生

PowerDVD は、VCD 形式 (Video CD や Super Video CD) やオーディオ CD の再生が可能です。ただし、VCD/SVCD には固有の制約があるため、PowerDVD の機能を十分に活用することはできません。

1. PowerDVD を起動し、VCD/SVCD を挿入してください。再生



をクリックします。ドライブが正しく選択されているかを確認してください。選択されていない場合は、**ドライブ/プレイモードの選択**  をクリックし、正しいドライブを選択してください。

2. VCD/SVCD の再生がスタートします。VCD/SVCD のタイトルによっては、タイトルメニューが表示されます。タイトルによっては、スクリーン上にメニューが表示され、直接クリックして選択したり、**ナンバーパッド** を使って選択することができます。

- VCD/SVCD はナビゲーション機能を備えているので、ダイナミックスクロールバーを使って機能を活用できます。
- **早送り**や**巻き戻し**も行えます。
- チャプタ機能をサポートしているタイトルであれば、**次のチャプタ**  や**前のチャプタ**  をクリックすれば、チャプタをスキップしたり、戻ったりすることができます。

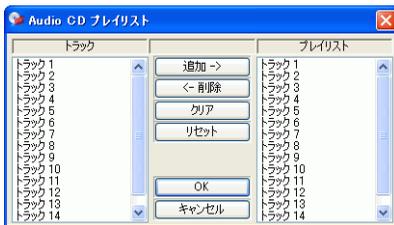
オーディオ CD の再生

オーディオ CD を再生するには、ドライブ／プレイモードの選択



で正しいドライブを選択するか、メディアファイルを開くを選択してください。詳しくはファイルの再生 ページの「58」を参照してください。

1. PowerDVD を起動し、オーディオ CD を挿入します。再生  をクリックしてください。



2. オーディオ CD のプレイリストを変更するには、再生中や一時停止中にメニュー  をクリックしてください。
3. デフォルト設定として、オーディオ CD の全トラックのプレイリストを左のウィンドウから選択します。消去 をクリックしてプレイリストを消去したり、リセット をクリックしてデフォルト設定に戻ることができます。
4. プレイリストにトラックを追加するには、トラックを選択し、追加 をクリックしてください。複数のトラックを選択したい場合には、<Ctrl> キーを押しながら選択したり、<Shift> キーを押して、一連のトラックを選択することができます。
5. 選択し終えたら、**OK** をクリックしてください。

ファイルの再生

ファイルを再生するには、ファイルをドラッグ&ドロップする、またはプレイリストを選択してください。

注：PowerDVD がディスクモードでデータディスクを挿入すると、ディスク上のすべてのメディアファイルが再生されます。

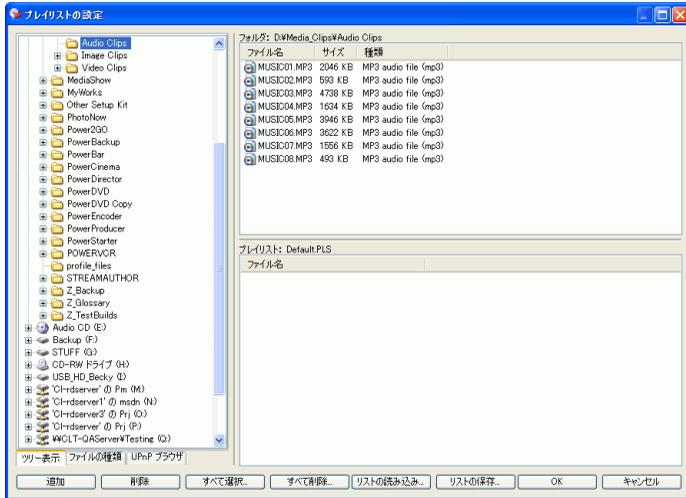
ドラッグ & ドロップによる再生

いちばん簡単な方法として、ファイルをドラッグ & ドロップで直接 PowerDVD の操作パネル上やスクリーン上に移動させるだけで、ファイルを再生することができます。この機能は PowerDVD7 がサポートしているメディア・ファイルと、プレイリスト形式 (.m3u や .pls) に対応しています。

1. PowerDVD を起動し、エクスプローラまたは任意のフォルダを開いてください。
2. ここで、ドラッグ & ドロップの操作を行いやすくするために、エクスプローラのサイズを変更するなどしてください。
3. 再生したいファイルをクリックし、PowerDVD の操作パネルまでドラッグしてから、ドロップしてください。
4. PowerDVD での再生がスタートします。

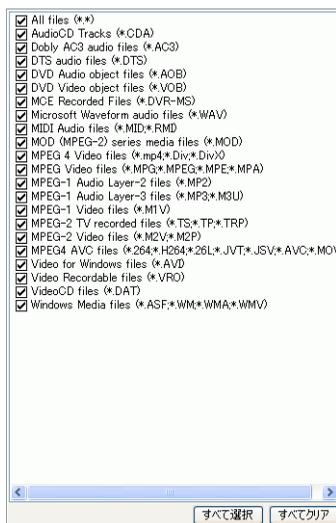
プレイリストの作成

1. まず、操作パネルからドライブ/プレイモードの選択  をクリックしファイルモードを選択してください。プレイリストの設定ダイアログボックスが開きます。



2. 左のウィンドウからビデオ/オーディオ・コンテンツを含むドライブやフォルダを選択し、ファイルを選択します。選択したファイルは右上のウィンドウに表示されます。
 - **ブラウザタブ**を選択し、ローカル・ディスクとディレクトリを検索してメディア・コンテンツを選択してください。
 - **ファイルの種類**タブに切り替え左のウィンドウから表示したいファイルを選択すると、選択した種類のファイルのみ表示されます。**すべてクリア**をクリックすると、ファイルの種

類をリセットでき、**すべて選択**をクリックすると、再生可能な全てのファイルの種類を選択することができます。



- UPnP ブラウザタブでは、UPnP デジタルホームネットワーク上に存在するメディアサーバへのアクセスが可能になり、UPnP ネットワーク上のメディアコンテンツを再生することができます。
3. 右上のウィンドウでファイルを選択し、**追加**をクリックすれば、プレイリストにファイルが追加されます。プレイリストからファイルを削除するには、プレイリストウィンドウでファイルを選択し、**削除**をクリックしてください。**すべて選択**をクリックすると、右上のウィンドウに表示されているすべてのメディアファイルがプレイリストに追加されます。**すべて削除**をクリックすると、プレイリストのファイルはすべて削除されます。
- フォルダを左のウィンドウからドラッグ&ドロップすれば、フォルダ内（サブフォルダは含まれません）のすべてのメディアファイルをプレイリストに追加することができます。

注：複数のファイルを再生する場合、シャッフル機能やリピート機能を使用する場合を除き、プレイリストに追加された順番がリスト順となり、再生を行います。

注：ウィンドウの右角の四角ボタンをクリックすると、ウィンドウが拡大します。同様に、ダイアログボックスの右角をクリック&ドラッグすると、サイズが調整できます。個々のウィンドウのサイズは、ウィンドウ間の境界線をクリック&ドラッグすることで、調整できません。

- プレイリストに PLS や M3U 形式が含まれる場合には、**リストの読み込み** をクリックしてください。リストに含まれているファイルを表示するため、すでに読み込まれていたファイルは外されます。ただし、このプレイリストファイルを読み込んだ後に、プレイリストファイルを変更せず、ファイルを追加することが可能です。
 - 新たに作成したプレイリストを保存するには、リスト完成後に**リストの保存** をクリックしてください。保存場所を指定し、**保存** をクリックしてください。
4. 保存したリストに問題がなければ、**OK** をクリックします。
 5. プレイリストを再生するには、**再生** をクリックしてください。

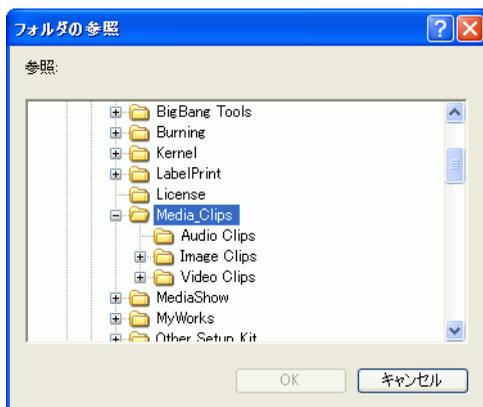


シャッフルや、リピート、ナンバーパッド (参照メニュー / ナンバーパッドを使用 ページの「42」) 機能が利用できます。

ハードディスクのファイルを再生

CyberLink PowerDVD Ultra は、ハードディスクドライブの個人用ビデオファイルの再生をサポートします。再生するには、ビデオソースを指定して、ビデオファイルが含まれているフォルダを選択します。

1. 操作パネルのドライブ／プレイモードの選択  をクリックし、フォルダモードを選択してください。 .



2. 再生を行いたいフォルダを選択したら、**OK** をクリックします。ディスクタイトルと同じように、ファイルの再生がスタートします。

第 4 章 :

設定

この章では、PowerDVD の再生設定について説明します。

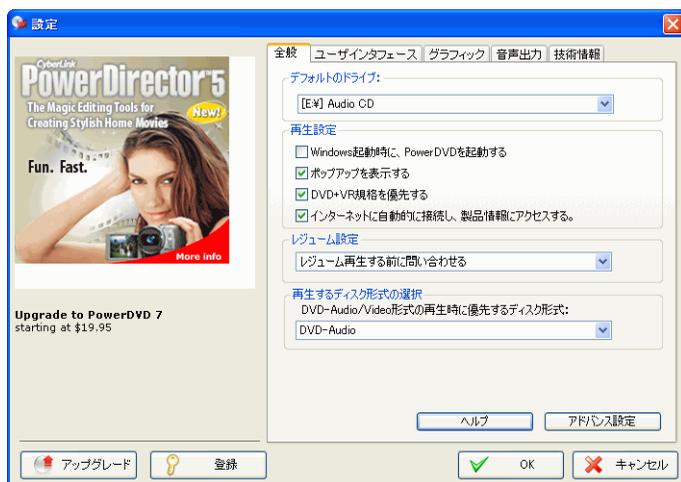
この章は、次のセクションで構成されています。 :

- 全般の設定 ページの「64」
- 全般のアドバンス設定 ページの「66」
- 操作パネルの設定 ページの「75」
- 映像設定 ページの「77」
- 映像アドバンス設定 ページの「79」
- 音声出力設定 ページの「86」
- 音声出力アドバンス設定 ページの「90」
- 技術情報 ページの「100」
- HD DVD の設定 ページの「104」
- Blu-ray ディスクの設定 ページの「108」
- リージョン設定 ページの「109」
- モバイル電源設定 (オプション) ページの「110」

注 : Dolby、Pro Logic、MLP Lossless、Surround EX、およびダブル D ロゴは、Dolby Laboratories の商標です。

全般の設定

設定  をクリックすると、デフォルトとして全般設定タブの画面が表示されます。ここでは、全般的な設定を行うことができます。



1. ドライブが複数ある場合には、再生するディスクが挿入されているドライブを選択してください。
2. コンピュータのオン/オフ時に関する動作について説明します。
 - **Windows 起動時に PowerDVD を起動する** をチェックした場合には、Windows 起動時に PowerDVD も起動し、システムトレイに常駐します。
 - **ポップアップを表示する** をチェックすると、ヒントが表示されます。機能を示す箇所にカーソルが来ると、黄色のテキストボックスで表示します。
 - **DVD+VR 規格を優先する** をチェックすると、DVD+VR ディスクを再生する場合、DVD+VR 規格を優先して再生を行います。

- インターネットで自動アップデートを行うをチェックすると、PowerDVD のアップデートはインターネットを通じて自動的に行われます。
3. **DVDのレジューム設定** ディスクタイトル再生中に停止や終了をクリックし、次回そのタイトルを再生を行った際に、前回停止した位置から続きを再生させることができます。レジューム再生機能は、再生が中断された位置を記憶するので、複数のディスクを再生する際や、PowerDVD を途中で終了時に便利な機能です。次のオプションを選択してください。
- **常に最初からコンテンツを再生する**を選択すると、レジューム再生機能は無効になり、ディスクの最初から再生を開始します。
 - **中断した再生位置から、再生を開始する**を選択すると、レジューム再生機能は有効になります。
 - 再生するごとに、レジューム再生を選択したい場合には、**レジューム再生する前に問い合わせる**を選択してください。この設定を行うと、再生時にダイアログが表示され、最初から再生を行うか、前回の続きから再生行うかの選択ができます。

全般のアドバンス設定

設定画面の**全般**から、**アドバンス設定** をクリックすると、詳細な設定が行え、以下のタブがあります：

- オンスクリーン表示 ページの「66」
- スナップショット ページの「68」
- キーボード/マウス ページの「69」
- ファイル関連 ページの「71」
- ブックマーク ページの「71」

オンスクリーン表示

ここでは、オンスクリーン表示を設定します。オンスクリーン表示は、使用中の機能や PowerDVD の状態で表示する機能です。



1. **設定**  をクリックし、**全般**タブを選択します。**アドバンス設定** をクリックし、**オンスクリーン表示**タブを選択してください。

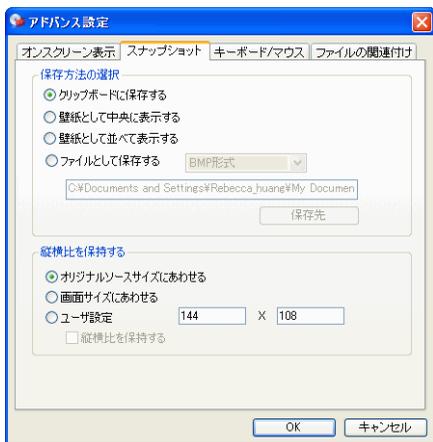
- 機能を有効にするには、**使用する**にチェックを入れてください。入力フィールドで、オンスクリーン表示の表示時間(秒)を設定してください。
- **表示位置の選択**では、4つのポジションから表示位置を選択してください。
- **表示文字の設定**では、**フォントの設定**をクリックすると、他のフォントを選択できます。**言語**フィールドが有効な場合には、言語も選択できます。
- **表示色の設定**セクションでは、**カラーボックス**を直接クリックすると、**文字**や**背景**の色を変更する、**ダイアログボックス**が表示されます。**透明化**をクリックすると、オンスクリーン表示の背景が透明になります。

オンスクリーン表示の色の設定

1. 基本色を選ぶ、またはオリジナルの色を作成することができます。右下の数値フィールドで色合い、鮮やかさ、明るさ、赤、緑、青といった項目を数値で設定できます。
2. 数値入力やカラーチャートで作った色は、**色の追加**をクリックすれば、左側の**作成した色**セクションに表示されます。
3. 作成した色を選択するには、色をクリックし、**OK**をクリックしてください。
4. 設定が完了したら、**OK**をクリックします。

スナップショット

ここでは、スナップショット機能でのキャプチャの設定を行います。詳しくはお気に入りのシーンのキャプチャ ページの「34」を参照してください。



1. **設定**  をクリックし、**全般**タブを選択します。**アドバンス設定**をクリックし、**スナップショット**タブを選択してください。
2. **保存方法の選択**のセクションでは、基本的なキャプチャのオプションを設定できます：
 - **クリップボードに保存する**を選択すると、Windows のクリップボードに画像をキャプチャします。キャプチャした画像は、MS Word や MS Paint、Photoshop などのアプリケーション上で貼り付けできます。
 - **壁紙として中央に表示する**を選択すると、キャプチャした画像はデスクトップの中央に表示され、Windows のデフォルトのシステム・フォルダに保存されます。
 - **壁紙として並べて表示する**を選択すると、キャプチャした画像はデスクトップに並べて表示され、Windows のデフォルトのシステム・フォルダに保存します。

- **ファイルとして保存する**を選択すると、選択したフォルダに直接、キャプチャした画像を保存します。ファイル形式は右側のプルダウン・ボックスから指定でき、JPG、BMP、GIF、PNG、TIFFなどの形式を選択することができます。また、デフォルトのファイル名とディレクトリを変更することも可能です。**保存先**をクリックすれば、他のフォルダを選択できます。適切なフォルダを選んだら、**OK**をクリックします。

注：PowerDVDでは、キャプチャされたファイルに対して、自動的に数字をファイル名に追加します。このため、既にあるファイルに新しくキャプチャしたファイルが置き換わることはありません。

注：HD DVDおよびBlu-ray ディスクタイトルの再生中はこの機能は使用できません。

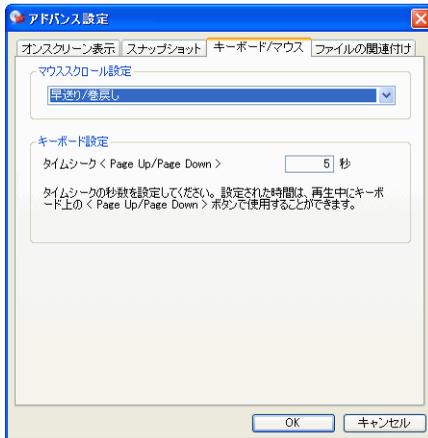
縦横比を保持するセクションでは、キャプチャする画像サイズのオプションを選択できます。

- **オリジナルソースサイズにあわせる**ディスクタイトルがNTSC形式の場合、オリジナルのサイズは720x480、PAL形式の場合は720x576です。このオプションでは、実際表示している画面のサイズではキャプチャされません。
- **画面サイズにあわせる**このオプションでは、モニターに表示している画面のサイズでキャプチャします。
- **ユーザ設定サイズ**このオプションは、キャプチャを行う画像サイズを指定し、キャプチャを行ってください。
- **縦横比を保持する**このオプションでは、縦横比に合わせてサイズの調整を行います。

キーボード / マウス

ホイール付きのマウスの場合、ホイールに機能の設定を行うことができます。マウスホイールの使用方法については、マウスのユーザガイドを参照してください。

1. 設定  をクリックし、全般タブを選択します。アドバンス設定をクリックし、キーボード / マウスタブを選択してください。



2. マウススクロール設定セクションで、プルダウン・メニューからホイールで使用する操作を選択してください。
 - ホイールでシャトル機能を使用するには、早送り / 巻戻しを選択してください。
 - マウススクロールでタイムシークも行えます。タイムシーク (**Page Up/Down**) の秒数を設定するには時間 (秒) を入力してください。(最大 600 まで) 設定された時間は、キーボードの Page Up/Down ボタンで設定できます。
 - マウススクロールでディスクタイトルで予め設定されているチャプタ間や、プレイリストのファイル間を移動するには、前の / 次のチャプタを選択してください。
 - また、音量を選択すると、マウススクロールで音量調節が行えます。
 - コマ送り / コマ戻しオプションでは、ひとコマずつ映像を進めたり、戻したりできます。

ファイル関連

PowerDVD のファイルの関連付けタブでは、PowerDVD で再生可能なファイル形式が表示されています。PowerDVD をデフォルトの再生ソフトウェアに設定するファイル形式をチェックしてください。設定しないファイル形式は、チェックを外してください。



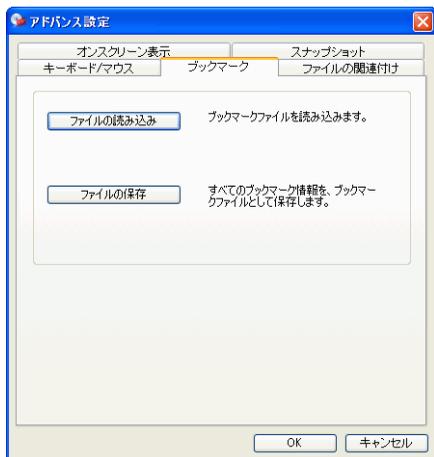
1. **設定**  をクリックし、**全般**タブを選択します。**アドバンス設定**をクリックし、**ファイル関連**タブを選択してください。
2. PowerDVD をデフォルトの再生ソフトウェアに設定するファイル形式をチェックしてください。
 - PowerDVD をデフォルトに設定しないファイル形式は、チェックを外してください。

注：挿入したディスクを自動再生するをチェックすると、ディスク挿入時に PowerDVD が再生をスタートします。PowerDVD と IFO ファイルを対応させるには、IFO ファイルのダブルクリックで PowerDVD を起動し、再生をはじめるをチェックしてください。

ブックマーク

ブックマークの機能については、お気に入りのシーンをブックマークする ページの「31」を参照してください。他の PowerDVD プラッ

トフォーム（他のコンピュータなど）で同じブックマークを使用したい場合などに、登録済のブックマークを読み込み／保存するための設定が行えます。



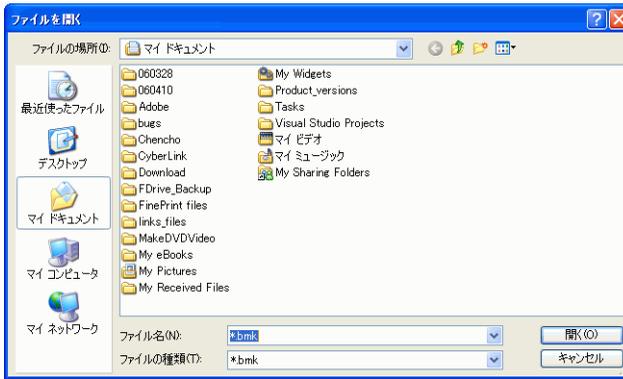
ブックマークファイルの読み込み

1. 読み込みたい.bmkファイルとブックマークフォルダをPCに保存してください。

注：ブックマークの保存場所は OS によって異なります。ブックマークのフォルダを検索したり、PowerDVD を起動し、設定画面でブックマークの読み込みをクリックして、読み込むファイルを指定してください。

2. PowerDVD のブックマークフォルダに .bmk ファイルを保存したら、PowerDVD を起動してください。
3. 設定  をクリックし、**全般**タブを選択します。**アドバンス設定**、次に**ブックマーク**タブを選択してください。

4. ファイルの読み込みをクリックします。

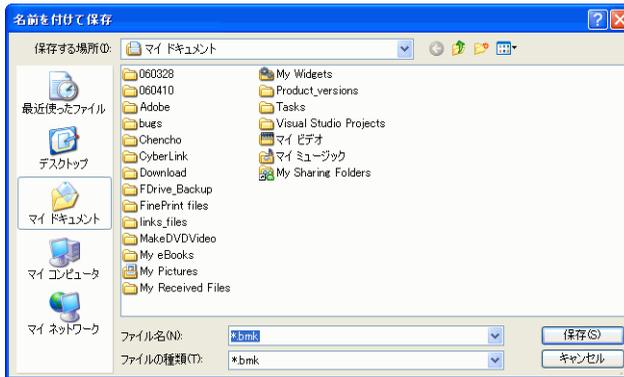


5. ブックマークファイルが保存されているフォルダで読み込むファイルを指定し、**開く**をクリックしてください。次回このコンピュータ上でDVDを再生する時には、インポートされたブックマークを使用できます。

ブックマークの保存

1. 登録済のディスクタイトルのブックマークをファイルとして保存するには、**設定**  をクリックし、**全般**タブを選択します。

2. **アドバンス設定**をクリックし、**ブックマークタブ**を選択してください。



3. **ファイルの保存**をクリックすると、ダイアログボックスが表示されるので、ファイルに名前と **.bmk** の拡張子を付けて保存してください。
4. 名前を入力し、**保存**をクリックします。このファイルの保存場所を忘れないようにしてください。
5. 最後に **OK** をクリックします。

操作パネルの設定

ここでは、PowerDVD の操作パネルをカスタマイズできます。



操作パネル

PowerDVD の操作パネルは、いくつかのデザインから選択できます。操作パネルを変更するには、次の手順に従ってください。

1. 設定  をクリックし、**操作パネル**タブを選択します。
2. **起動時、ランダムに操作パネルを変更する**をチェックすると、PowerDVD の起動時、ランダムに操作パネルを選択します。
3. 他の操作パネルを選択するには、選択できるパネルから操作パネルを選択してください（プレビューが表示されます）。
 - CyberLink から新しい操作パネルをダウンロードするには、**ダウンロード**をクリックしてください。
4. 最後に **OK** をクリックします。

言語

ここでは、PowerDVD の操作パネルで使用したい言語を選択することができます。システムのデフォルト言語や、PowerDVD がサポートするさまざまな言語が設定できます。

1. **設定**  をクリックし、**操作パネルタブ**を選択してください。
2. **システムのデフォルト言語を使用** を選択すると、OS のデフォルト言語が使用され、**ユーザ定義**を選択すると、プルダウンボックスから使用言語を選択できます。
3. 最後に **OK** をクリックします。

映像設定

1. 設定  をクリックし、映像タブを選択すると、PowerDVD でのグラフィックの基本設定が行えます。



- 再生支援機能（DxVA）が一番上のセクションです。再生支援機能（DxVA）を使用すると、いくつか利用できなくなる機能があります。
- 再生画面の設定では、画面設定が行えます。フルスクリーンで再生するをチェックすると、モニター全画面での表示がデフォルト設定されます。PowerDVD の再生画面を最前面に表示するには、再生画面を、常に手前に表示するにチェックしてください。
- 映像設定のセクションでは、お好みに合わせた画質出力を設定できます：
- CyberLink Eagle Vision 2 **CLEV-2 (CyberLink Eagle Vision 2)** は、映像コンテンツの明るさ / コントラスト / 鮮やかさのバランスがダイナミックに調整されるため、明るす

ぎたり暗すぎたりする画面をその都度調整を行う必要はありません。**フルモード**を選択すると、画面全体に効果が適用されますが、**分割モード**を選択すると、CLEV-2 の実際の効果を確認しながら、適用するかどうかを決めることができます。**レベルスライダ**を使用して、適用レベルを調整できます。

注：HD DVD および Blu-ray ディスクタイトルの再生中はこの機能は使用できません。

- **カラープロファイルを使用する**オプションでは、プルダウン・メニューからプロファイルを選択できます。新しいプロファイルを作成するには、カラーコントロールページの「82」を参照してください。
 - フルスクリーンモードの時、自動で **Read-It-Clearly** を適用するをチェックすると、フルスクリーンでの再生時に Read-It-Clearly 機能が有効になります。
2. さらに詳細に設定を行うには、**アドバンス設定**をクリックしてください。映像アドバンス設定 ページの「79」を参照。

映像アドバンス設定

設定画面の映像タブでアドバンス設定をクリックすると、さらに詳細な設定ができます。映像アドバンス設定には次のタブがあります。：

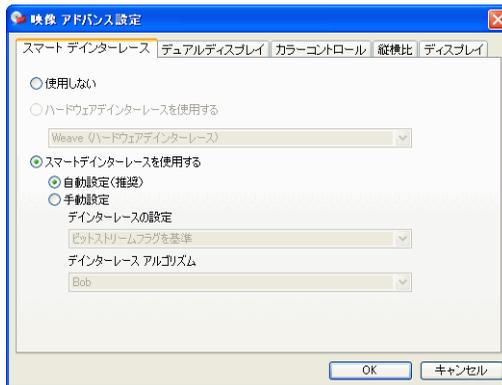
- "スマート デインターレース"
- "デュアルディスプレイ"
- "カラーコントロール"
- "縦横比"
- "ディスプレイ"

注：デインターレースモード以外の設定は、再生中の時のみに利用いただけます。

スマート デインターレース

ここでは、画面設定に従った設定が行えます。

1. 設定  をクリックし、映像タブを選択します。アドバンス設定をクリックし、スマートデインターレースタブを選択してください。

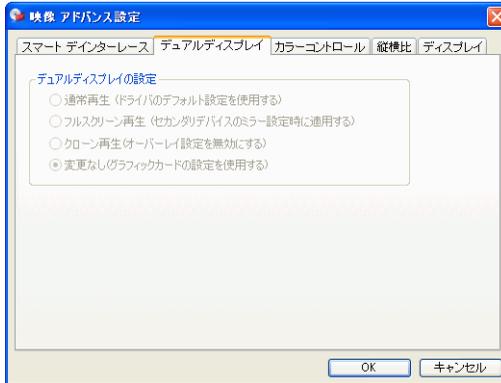


- デインターレースモードを使用しない場合は**使用しない**を選択します。
 - ビデオカードにハードウェアデインターレースが搭載されている場合には、**ハードウェアデインターレースを使用する**を選択してください。
 - ここでの推奨設定は、**スマートデインターレースを使用する、自動選択**です。自動選択モードでは、ご利用の環境で最適な画質が得られるようなデインターレースモードが選択されます。
 - デインターレースモードをマニュアルで選択するには、**手動設定**をチェックし、**デインターレースの設定とデインターレースアルゴリズム**を選択してください。アドバンスユーザにはこのオプションがお奨めです。
2. 最後に **OK** をクリックします。

デュアルディスプレイ

デュアルディスプレイ・モードを設定すると、2つのモニター（コンピュータモニターとTVなど）に再生画面を表示することが可能になります。ビデオ・カードによって設定できるオプションは異なります。

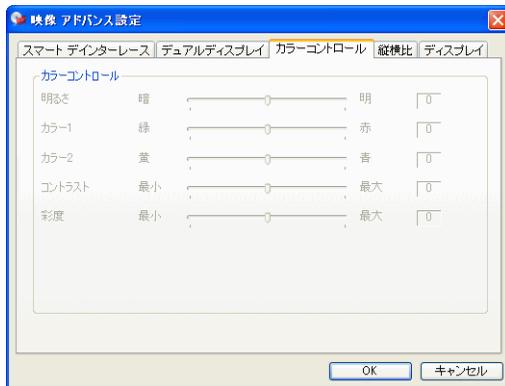
1. 設定  をクリックし、映像タブを選択します。アドバンス設定をクリックし、デュアルディスプレイタブを選択してください。



- **通常再生 (ドライバのデフォルト設定を使用する)** : はディスプレイドライバのデフォルト設定を使用します。
- **フルスクリーン再生 (セカンダリデバイスのミラー設定時に適用する)** オーバーレイモードを使用し、セカンダリディスプレイデバイスにフルスクリーン再生を行います。
- **クローン再生 (オーバーレイ設定を無効にする)** オフスクリーンモードを使用し、両デバイスで同じ映像出力を表示します。
- **変更なし (グラフィックカードの設定を使用する)** 現行のドライバ設定 (デフォルト値から変更した場合も含め) を使用します。

カラーコントロール

1. **設定**  をクリックし、**映像** タブを選択します。**アドバンス設定** をクリックし、**カラーコントロール** タブを選択してください。



2. **カラーコントロール** を調整するには、再生または一時停止モードで、調整したい項目のスライダをドラッグします。右端の数値は変更した値を表します。
 - 調整後、**保存** をクリックすると、映像プロファイルとして保存します。**元に戻す** をクリックすると、オリジナルの設定を任意の映像プロファイルに戻します。

注： グラフィックチップによっては、使用できない機能があります。

カラープロファイルの作成

カラーコントロールを調整して、既存のプロファイルではない、オリジナルのカラープロファイルとして設定できます。これには、主に2通りの方法があります。

1. **新規** をクリックし、カラープロファイルに名前を付けてください。

2. **OK** をクリックします。次にカラーコントロールの項目を調整し、完了したら**保存**をクリックしてください。最後に **OK** をクリックします。

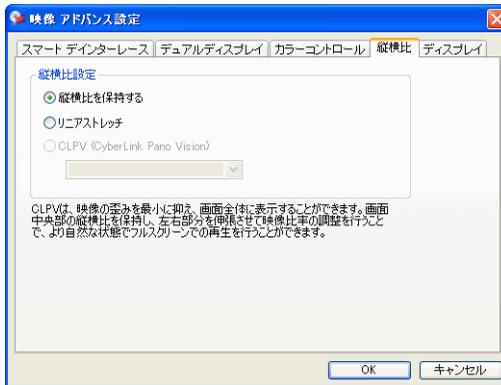
次の方法は、先にコントロール項目の調整を完了した場合のやり方です。

1. コントロール項目の調整が完了したら、**新規**をクリックします。次に、この設定に名前を付けます。
2. 最後に**OK**をクリックします。ここでカラーコントロール項目を調整し、完了したら、**保存**をクリックしてください。最後に **OK** をクリックします。

注：元に戻すをクリックしても、変更済みのデフォルト値の状態にしか復元されません。これはユーザ設定のカラープロファイルには当てはまりません。

縦横比

1. **設定**  をクリックし、**グラフィック** タブを選択します。**アドバンス設定** をクリックし、**縦横比** タブを選択してください。ここでは、4 : 3 の映像の 16 : 9 へ（およびその逆）の変換について設定します。



- 縦横比セクションの、**縦横比を常に保持する** オプションを選択すると、画面のサイズを変更してもオリジナルの縦横比を

維持します。このオプションは、以下の CLPV オプションと同時に選択することはできません。

- **リニアストレッチ** は、映像全体を均等に拡張します。ビデオ画面とモニタ画面の縦横比が一致しない場合には、歪みが目立ちます。
- **CLPV (CyberLink Pano Vision)** はノンリニアの映像ストレッチ技術で、画像の中心部の歪みを最小限に抑えます。

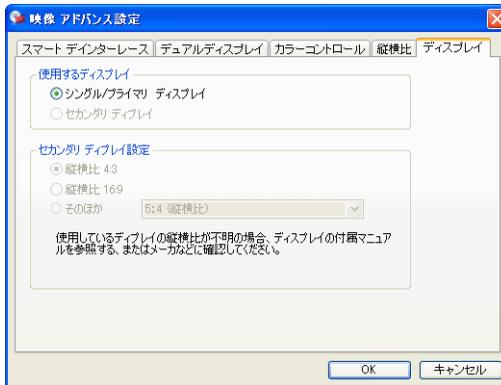
注：HD DVD および Blu-ray ディスクタイトルの再生中はこの機能は使用できません。

- **スマートストレッチ** は、ビデオ画面をモニタ画面の高さに合わせ、両端をカットします。ほとんどの映像にお奨めのオプションです。**フィットスクリーン** は、ビデオ画面をモニタ画面に隙間なく合わせます。**字幕保持** を選択すると、字幕が切れないように画面を調整します。(このオプションは 4 : 3 のコンテンツでのみ有効です)

2. 最後に **OK** をクリックします。

ディスプレイ

1. 設定  をクリックし、映像タブを選択します。アドバンス設定をクリックし、ディスプレイタブを選択してください。 .



- ディスプレイの設定セクションでは、表示デバイスとしてシングル / プライマリ ディスプレイかセカンダリ ディスプレイのいずれかを選択してください。
 - セカンダリ デバイスを選択し、縦横比 **4 : 3** または縦横比 **16 : 9** のいずれかを選択し、画面の解像度を指定してください。通常はデフォルト設定で問題ありませんが、デフォルトが出力デバイスに適切でない場合には、プルダウンメニューから**その他**を選択してください。
2. 最後に **OK** をクリックします。

音声出力設定

設定  をクリックし、音声出力タブを選択します。より詳細に音声出力を設定するには、**アドバンス設定** をクリックすれば、より多くの設定が行えます (音声出力アドバンス設定 ページの「90」を参照)



1. サウンドカードやスピーカの数に合わせて、最適なスピーカ設定をプルダウンメニューから選んでください。
 - **Headphone** は主にノートブック・ユーザ向けのオプションです。
 - **2 スピーカ出力** は、2つのスピーカ付きのデスクトップ/ノートブックで DVD を再生する場合や、2チャンネル出力のサウンドカードに対応するオプションです。このオプションでは、DirectSound や Microsoft の API (アプリケーション・プログラミング・インタフェース) を使用して、DirectX® API の WAVE・オーディオ・コンポーネントを作成します。

- **SPDIF 出力**を選択すると、従来のアナログ・インタフェース経由の信号に対してソニーとフィリップスが開発した、デジタル・インタフェース技術を使用します。このオプションを有効にし、6スピーカー出力の音質を実現するには、SPDIF 準拠のサウンドカードと Dolby Digital/DTS 外部デコーダの接続が必要です。

注：SPDIF 出力を選択すると、PowerDVD の音量コントロールが無効になり、外部デコーダがコントロールすることになります。

- **4 スピーカ出力**は、4チャンネル出力のサウンドカードを搭載したコンピュータ向けのオプションです。
 - **6 スピーカ** (または5.1チャンネル)は、6チャンネル出力のサウンドカードを搭載したコンピュータ向けのオプションで、Dolby Digital 5.1 や DTS 5.1 といったマルチチャンネル採用の DVD 映像タイトルに最適です。
 - **7 スピーカ**と **8 スピーカ出力**は、複数のスピーカーが接続された環境で、それぞれに音声を出力したい場合のオプションです。
2. 次のオプションは、スピーカー環境セクションでの設定によっては、選択できない場合があります。
- **Dolby Surround Compatible Downmix**とステレオの主な違いは、Dolby Surround が Dolby Surround ダウンミックスアルゴリズムを使用していることと、Dolby Surround の 4ch サラウンドサウンドを可能にするためにアナログ Pro Logic デコーダが利用できるサウンドカードを利用している場合に有効です。その他、2チャンネル出力では双方の違いはあまりありません。詳しくはその他の設定ページの「90」を参照してください。
 - **Dolby Headphone** は、ヘッドフォン向けのバーチャルサラウンド音響を実現するためのポストプロセッシング効果ですが、ノートブックとデスクトップ環境のどちらでもご利用いただけます。詳しくは Dolby Headphone ページの「93」を参照してください。

- **CyberLink Headphone** は、CyberLink 独自の技術を使用して、ノートブックからヘッドフォンに高品位の音声を出力するオプションです。アドバンス設定のオプションでは、リビングルーム、映画館、大規模スタジアムでの音響の違いをシミュレーション体験できます。詳細については **CL Headphone (オプション)** ページの「94」を参照してください。

注：このオプションは、PowerDVD のバージョンによっては、サポートされていない場合があります。

- **Dolby Virtual Speaker** オプションを選択すると、2 スピーカでバーチャル・サラウンド音響を実現できます。詳細については、**Dolby Virtual Speaker** ページの「95」を参照してください。
- **CyberLink Virtual Speaker** は、CyberLink が開発した独自のバーチャル・サウンド技術です。詳細については **CyberLink Virtual Speaker(オプション)** ページの「96」を参照してください。
- **CLMEI-2** (CyberLink Multi-channel Environment Impression technology 2) は、CyberLink が開発した音声チャンネル拡張技術で、ステレオ音声を変換してマルチチャンネルで出力します。詳細については、**CLMEI-2** ページの「97」を参照してください。
- **Dolby Pro Logic IIx**には3つのオプションがあります。詳細については、**Dolby Pro Logic IIx (オプション)** ページの「98」を参照してください。
- **Neo : 6** は、2つのモードで利用できます。詳細については、**Neo : 6 (オプション)** ページの「99」を参照してください。
- **SRS TruSurroundXT** は、マルチチャンネル・サラウンド音響を処理するバーチャライズ技術です。詳細については、**SRS TruSurroundXT (オプション)** ページの「91」を参照してください。

- 最後に **OK** をクリック、または音声出力アドバンス設定 ページの「90」に進んでください。

音声出力アドバンス設定

設定画面の音声出力タブをクリックし、アドバンス設定をクリックするします。ここでは詳細な音声設定を行い、最適な音響効果を実現することが可能です。次のようなタブがあります：

ヘッドフォン設定

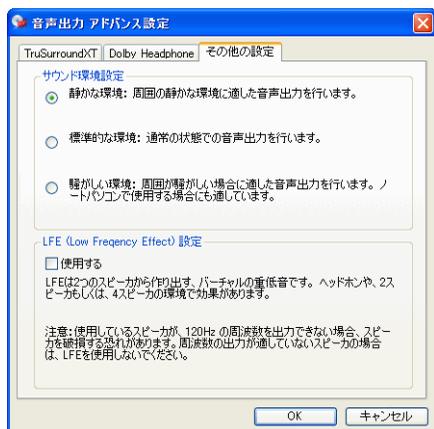
ここでのオプションは、音声設定機能でヘッドフォン環境を設定した場合にのみ有効です。

その他の設定

このタブでは、マルチチャンネル・エンコードされたディスクタイトル用の音声プロパティを設定できます。

注：このタブの設定は、ヘッドフォン、2 スピーカ、4/6/7/8 スピーカのモードでご利用できます：**ステレオ**、**Dolby Surround Compatible Downmix**、**エフェクトなし**

1. **設定**  をクリックし、**音声出力タブ**を選択します。**アドバンス設定**をクリックし、**その他の設定**タブを選択してください。



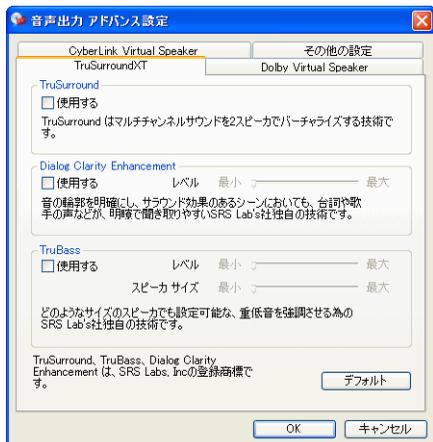
2. サウンド環境設定セクションは Dolby Digital 技術を搭載したディスクタイトルにのみ適用されます。
 - 落ち着いた気分で映画を観たいときには、**静かな環境**を選択してください。低～高周波の音声効果のすべての可聴音が、非常に際立って聞こえ、Dolby Digital のフルダイナミック・レンジを即座に体感できます。
 - Dolby Digital のフルダイナミックレンジを楽しむにはあまり適していない環境の場合には、**標準的な環境**を選択してください。Dolby Digital の最大限の音声領域の可聴効果が圧縮されます。
 - ノートブックやラップトップで PowerDVD を使用する場合は、最後のオプションが最適です。この**騒がしい環境**オプションでは、低域音声信号が増幅されるので、可聴音量が増大します。
3. 低音を上げるには、**Low Frequency Effect (LFE) 設定**、セクションの**使用する**にチェックをしてください。このオプションは、Dolby Digital/DTS エンハンスのディスクタイトルの LFE 効果をエンハンスする設定で、ヘッドフォン、2 および 4 スピーカシステムに適しています。
4. 最後に **OK** をクリックします。

SRS TruSurroundXT (オプション)

このタブでは、TruSurroundXT を設定できます。これはマルチチャンネルサラウンド音響を 2 スピーカやヘッドフォンで行えるバーチャライズ技術です。

注：この TruSurroundXT タブの設定は、ヘッドフォンモードおよび 2 スピーカモードでご利用できます。

1. 設定  をクリックし、音声出力タブを選択します。アドバンス設定をクリックし、**TruSurroundXT** タブを選択してください。



2. **TruSurround** セクションでは、マルチチャンネル・サラウンド音響を2スピーカーやヘッドフォンで利用できるバーチャライズ技術を設定できます。
 - **使用する**をチェックすると、PowerDVD で TruSurround 技術が有効になります。
3. **Dialog Clarity Enhancement** は、音声进行を明瞭化することによって映画の会話部分进行を聞こえやすい音質にする、SRS 独自の技術です。
 - **使用する**をチェックすると、Dialog Clarity Enhancement が適用されます。スライダを使用して、適用レベル进行调整してください。
4. **TruBass** は、スピーカーのサイズを問わず低音を強化する独自の技術です。
 - **使用する**をチェックすると、TruBass 技術が適用されます。スライダを使用して、適用レベルとスピーカー・サイズ进行调整してください。
5. 最後に **OK** をクリックします。

Dolby Headphone

基礎的な情報については、音声出力設定 ページの「86」を参照してください。

1. **設定**  をクリックし、**音声出力タブ**を選択します。**アドバンス設定**をクリックし、**Dolby Headphone** を選択してください。



2. リスニング環境に合わせて、以下のモードのいずれかを選択してください。
 - **DH1** は、一般的な室内での音響を再現します。映画や音楽に最適です。これは、Dolby Headphone を搭載したすべての製品が備えている設定です。
 - **DH2** は、より音響がライブ効果の高い室内を再現します。音楽を聴くのに最適な設定です。
 - **DH3** は、コンサートホールや映画館といったより広い会場の音響を再現します。

CL Headphone (オプション)



CL Headphone のアドバンス設定により、さまざまなリスニング環境を再現できます：

- **リビングルーム**は、一般的な室内の音響を再現するオプションで、映画や音楽に最適です。
- **映画館**は、より音響がライブ効果の高い室内を再現するオプションで、音楽を聴くのに最適です。
- **スタジアム**は、コンサートホールや映画館といったより広い会場の音響を再現するオプションです。

注：詳しくは、ソフトウェアのアップグレードページの「5」を参照してください。

2 スピーカ出力設定

次のオプションは、音声設定機能で2スピーカ出力環境を選択した場合に有効です。

注： Stereo または **Dolby Surround Compatible Downmix** 出力モードを選択し、その他の設定タブを開きます。詳細については、その他の設定ページの「90」を参照してください。

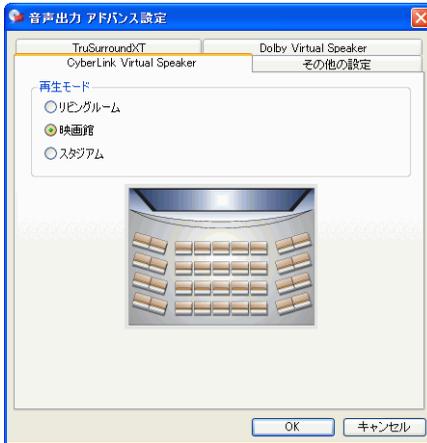
Dolby Virtual Speaker



Dolby Virtual Speaker 技術により、2 スピーカでバーチャル・サラウンド音響を実現できます。**標準** モードでは、前方に設置された2つのスピーカの位置から、5 スピーカ音響の環境を、2 スピーカで再現します。**ワイド 1** モードは、前方に設置されている2つのスピーカをより広く空間をもたせるように再現したオプションです。**ワイド 2** モードは、ワイド 1 にさらにサラウンドスピーカを強調させたオプションです。

CyberLink Virtual Speaker(オプション)

CyberLink Virtual Speaker は、CyberLink が開発した、バーチャルサウンド技術です。



- **リビングルーム**は、一般的な室内の音響を再現するオプションで、映画や音楽に最適です。
- **映画館**は、より音響がライブ効果の高い室内を再現するオプションで、音楽を聴くのに最適です。
- **スタジアム**は、コンサート・ホールや映画館といったより広い会場の音響を再現するオプションです。

注：これらの音声設定のオプションは、プログラム登録完了後に設定可能です。

4/6/7/8 スピーカ出力の設定

次のオプションは、音声設定機能で4、6、7、8スピーカ出力環境を選択した場合に有効です。

注：なしを選択すると、その他の設定タブが開きます。詳細については、その他の設定 ページの「90」を参照してください。

CLMEI-2

CLMEI-2 (CyberLink Multi-channel Environment Impression technology 2) は CyberLink が開発した音声チャンネル拡張技術で、ステレオ音声を変換してマルチチャンネルに出力します。



次の3つのモードが用意されています：ムービーモード（映画、特にアクションなどのダイナミックな音声ポジション）、ミュージックモードスタンダード（コンサートでの観客側のポジション）、ミュージックモードオンステージ（コンサートでのステージ上のポジション）

- スライダーを使用して、**Front**（前）、**Rear**（後）、**Center**（中央）、**LFE**（低音）それぞれのレベルを設定できます。
- **デフォルト**をクリックすると、スライダーは元のレベルにリセットされます。

注：スピーカのダメージを避けるため、120 Hz の低周波信号を出力できないスピーカの場合には、LFE オプションのレベルを下げてください。

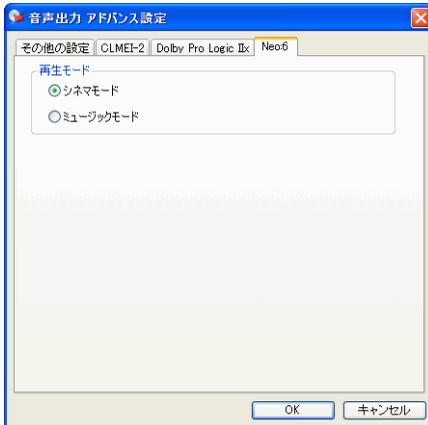
Dolby Pro Logic IIx (オプション)

Dolby Pro Logic IIx には3つのオプションがあります：映画鑑賞用のムービーモード、音楽鑑賞用のミュージックモード、エンハンスされたサラウンド音響向けの **Dolby Digital EX** モードです。



Neo : 6 (オプション)

Neo : 6 はマルチチャンネルのマトリックス音響形式で、2つのオプションがあります：映画鑑賞用のシネマモード、音楽鑑賞用のミュージックモードです。



技術情報

この設定は、DVDの再生に関連したディスクやコンピュータの情報が表示されているタブです。**設定**  をクリックし、**技術情報** タブを選択してください。



Player Information

プレイヤーとDVDのリージョンコード、および選択されているDVD-ROMドライブのドライブ番号が表示されます。

Display Information

- **Video Mode:** 映像設定 ページの「77」を参照
- **Display Mode:** 停止中は表示されません。ハードウェアが正常に設定されている場合には通常、DirectDraw と表示されます。

- **FourCC Code:** FourCC Code はデジタル映像形式の標準に対する Windows の表示です。YV12、YUY2、UYVY、MCS3、MCAM、IMC3 などが表示されますが、他の形式が含まれることがあります。PowerDVD のインストール後、自動的に診断プログラムが最適な形式を決定します。
- **Surface Type:** 画面のキャプションをサポートしている一般的なデフォルトには、念 verlay 煤 A “Hardware Video Accelerator”、“Hardware Video Accelerator (DxVA)” があります。“off-screen” と表示されることもあります。画面の解像度を変更するか、色数を下げるか、あるいは Microsoft DirectX を再インストールすることにより、Overlay モードに設定でき、最適なパフォーマンスが得られます。

注：Overlay 機能を適用するには、DirectDraw 準拠のディスプレイ・カードを使用してください。

Video attribute

ここに表示される情報は、使用中の DVD や他のメディア形式の映像の概要です。簡易的に説明している部分もあります。

- **Video compression mode** は MPEG-2 や MPEG-1 等、DVD、VCD、SVCD 等で使用されている映像形式が表示されます。
- **TV system** の最初の値は、走査線数を表します。次の値はフィールド値です (例：NTSC TV 信号の場合、標準は 525/60 になります)。
- **Aspect ratio** はディスクタイトルにより異なります。現在では、ワイドスクリーンのタイトルや TV 番組が多く、この場合、16：9 と表示されます。従来の TV 等は、4：3 となります。
- **Display mode** はディスクタイトルから読み込みます。
- **Source picture resolution** は映像の解像度を表します。DVD の標準は 720x480 (NTSC) または 720x576 (PAL) です。

- **Frame Rate** は1秒辺りのフレーム数を表します。NTSCでは30が、PAL (MPEG-1 and 2) では25が標準です。
- **Source picture letterboxed** は、ディスクタイトルがレターボックス (画面比 4:3) の場合、表示されます。
- **Bitrate** はムービー全体の最大ビットレートのサイズです。

Audio Attributes

- **Audio Coding mode** は、Dolby Digital などの音声形式を表示します。
- **Sampling Rate** では、音響周波数を表示します。数値が高いほど高品質です。
- **Audio application mode** では、ディスクタイトルの音声モード (カラオケやサラウンド音響のタイトルなど) を表示しますが、多くの場合は、Not specified (未対応) と表示されます。
- **Number of Audio Channels** では、ディスクタイトルの音声チャンネル数を表示します。
- **Bitrate** は音声のビットレート値を表示します。映像では Mbps (メガビット/秒) ですが、音声は映像に比べると小さい数値なので、Kbps (キロビット/秒) の表示になります。
- **Number of Audio Streams** では、ディスクタイトルに収録されているストリーム数 (言語、コメントリ、カラオケなど) を表示します。ストリームごとに、音声チャンネル数が異なります。例えば、Dolby Digital 5.1 (計6チャンネル) のストリームもあれば、通常の2チャンネルのストリームもあります。

Subpicture Attribute

- **Number of Subtitles** では、利用可能な字幕の総数が表示されます。

Hardware Information

Hardware Information では、DVD 再生に関連するコンピュータの情報を表示します。最初のセクションには、CPU プロセッサとそのクロック速度、PowerDVD が最適化している CPU の命令セットのリストが含まれています：

- **Processor** : Intel、AMD、VIA のいずれかのメーカーの CPU が表示されます。
- **3DNow! Technology**
- **Enhanced 3DNow! Technology**
- **3DNow! Professional Technology**
- **IA MMX Technology**
- **IA Streaming SIMD Extension**
- **IA SSE 2**

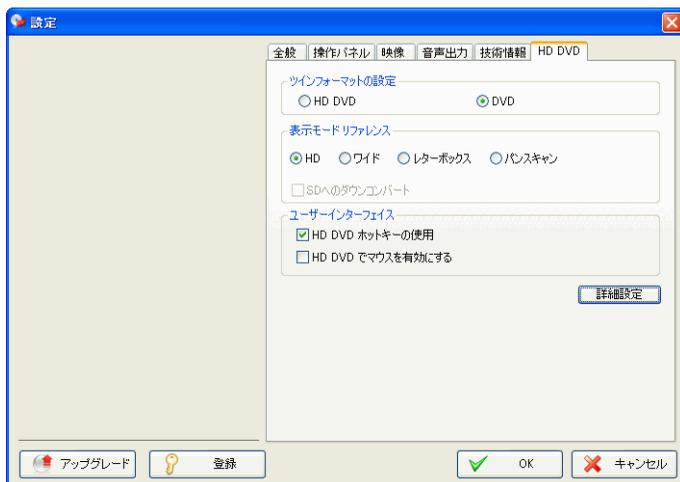
3DNow! は AMD (Advanced Micro Devices) の技術で、その他は Intel Architecture (IA) の技術です。以上の命令セットが検出された場合、PowerDVD は最適なパフォーマンスを得るために、検出された命令セットを使用します。

- **Video Accelerator** は、多くのディスプレイカードが搭載しています。アクセラレータが検出され、有効であれば (in use)、無効であれば (not in use) (映像設定 ページの「77」を参照) と表示されます。
- 使用しているサウンドカードが **Multispeaker Audio Device** に分類された場合に (in use) と表示されます。4 スピーカや 6 スピーカを選択している場合には (音声出力設定 ページの「86」を参照) (in use)、選択していない場合には (not in use) と表示されます。
- 使用しているサウンド・カードが **SPDIF 出力デバイス** に分類された場合にも、(in use) と表示されます。状態によって (音声出力設定 ページの「86」を参照)、(in use) あるいは (not in use) と表示されます。

HD DVD の設定

オプション項目を設定することにより、HD DVD の再生動作環境をコントロールすることが可能です。

1. **設定**  をクリックし、**HD DVD タブ** を選択します。



2. HD DVD のオプションを設定します。
 - ツインフォーマットの設定：HD DVD ディスクがツインフォーマットの場合、HD DVD または DVD のどちらのコンテンツを再生するかを指定してください。
 - 表示モードプレファレンスで、次の表示プレファレンスのいずれかを選びます。
 - **HD** - ハイビジョン用モニターまたはテレビ
 - **ワイド** - 16:9 モニターまたはテレビ
 - **レターボックス** - レターボックス形式で表示される従来型の 4:3 モニターまたはテレビ

- **パンスキャン** - パンスキャン形式で表示される従来型の4:3 モニターまたはテレビ
- **スクイーズ (オプション)** - スクイーズ形式で表示される従来型の4:3 モニターまたはテレビ

注: 上記のプレファレンスのいずれかを選ぶと、HD DVD タイトルが対応している場合、CyberLink PowerDVD はお好みの表示モードで自動的に再生できます

- **ハイビジョンを標準モード (SD) に変換するには、表示モードプレファレンスで **SD** にダウンコンバートをオンにします。**
- **ユーザーインターフェイス**
 - **HD DVD ホットキー** の使用 HD DVD タイトルで使用するために HD DVD ホットキーを有効にします。

注: HD DVD ホットキーを有効にすると現在の CyberLink PowerDVD ホットキーのいくつかが変更されます。HD DVD ホットキーの一覧に関しては、HD DVD ホットキーと機能 ページの「21」を参照してください。

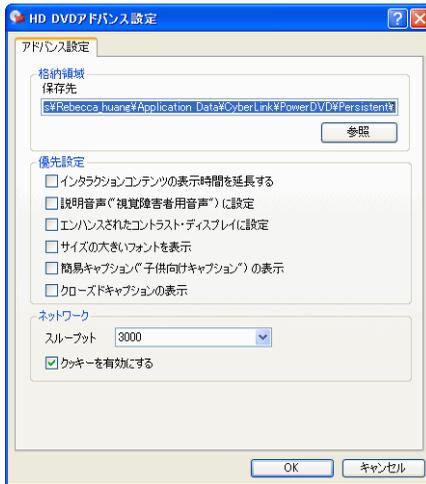
- **HD DVD でマウスを有効にする:** HD DVD ポップアップメニューで使用するためにマウスを有効にするこのオプションを選択します。この機能に関する詳細は、HD DVD でマウスを有効にする ページの「49」を参照してください。

3. 完了後、**OK** をクリックしてください。

アドバンス設定 - HD DVD

設定ウィンドウの HD DVD タブで、さらに詳細な設定を行うには、アドバンス設定をクリックしてください。

1. **設定**をクリックし、**HD DVD** タブを選択します。**アドバンス設定**をクリックすると、HD DVD アドバンス設定が行えます。



- **格納領域**: インターネットからダウンロードした HD DVD コンテンツが保存される格納領域です。デフォルトの保存場所を変更するには、**参照**をクリックし、格納領域として使用したいフォルダを指定してください。
- **ユーザ補助プレファレンス**
 - **対話型操作の時間延長のお好み設定**: HD DVD メニューの表示時間を延長するには、このオプションをオンにします。メニューの表示時間が標準の 5 秒から 30 秒またはそれ以上に延長されます (ディスクタイトルにより異なります)。
 - **説明用音声 (「目の不自由な方用の音声」)のお好み設定**: HD DVD の再生中に目の不自由な方に場面の説明を音声でするには、このオプションをオンにします。音声説明は、会話がない場面で録音された声のナレーションを供給します。

- **コントラスト表示強化のお好み設定**：HD DVD 再生中に表示コントラストを強化するには、このオプションをオンにします。
- **大きなフォントのお好み設定**：HD DVD の再生中に字幕のフォントを大きくするには、このオプションをオンにします。
- **簡易キャプション（「子供向けキャプション」）のお好み設定**：子供向けに書かれた簡単なキャプションを表示するには、このオプションをオンにします。これらの「子供向けキャプション」は、子供が理解しやすい簡略化したキャプションを提供して、HD DVD コンテンツの理解を助けます。
- **クローズドキャプションのお好み設定**：HD DVD 再生中にクローズドキャプションを使用するには、このオプションをオンにします。

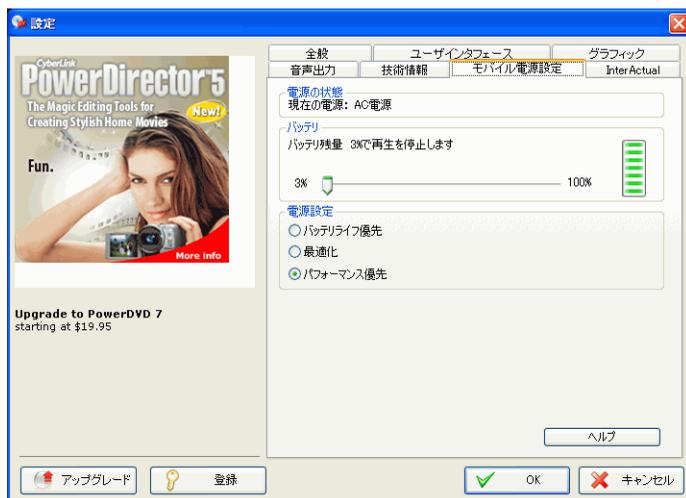
注：上記のユーザ補助機能を再生中に使用するには、HD DVD タイトルが対応していなければなりません。

- **ネットワーク**
 - **スループット**：CyberLink PowerDVD が HD DVD エクストラコンテンツのホームダウンロードを自動的に最適化するように、ネットワークのスループットレート（インターネット接続の現在速度）を選択します。ダウンロードしたエクストラコンテンツの品質は、選択したスループットレートに基づきます。
 - **クッキーを有効化**：クッキーを有効化をオンにして、HD DVD インターネットコンテンツのためにクッキーの受け取りを許可します。
2. 完了後、**OK** をクリックしてください。

Blu-ray ディスクの設定

オプション項目を設定することにより、Blu-ray ディスクの再生動作環境をコントロールすることが可能です。

1. **設定**  をクリックし、**BD ROM** タブを選択します。



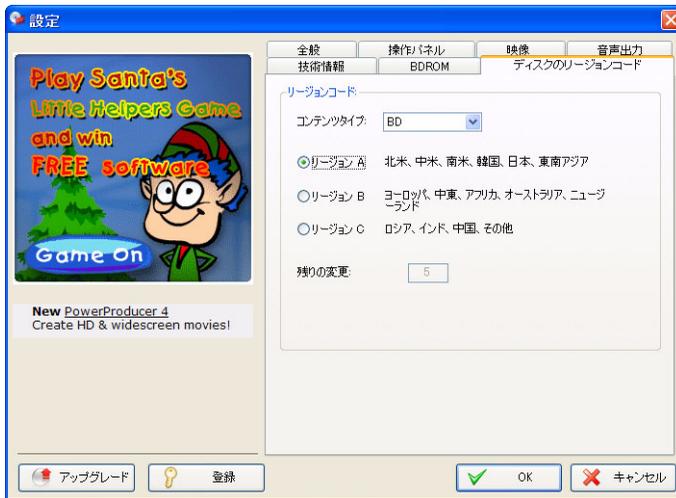
2. Blu-ray ディスクのオプションを設定します。
 - ローカルストレージは、仮想「パッケージメディア」などのインターネットからダウンロードしたエクストラ Blu-ray ディスクタイトルコンテンツを保存するのに使用されます。デフォルトの場所を変更する場合は、**参照 ...** をクリックしストレージに使用するディレクトリを選択します。
 - ネットワークはネットワークの接続タイプを選択するのに使用されます。CyberLink PowerDVD は選択に基づいて Blu-ray ディスクエクストラコンテンツのホームダウンロード自動的にを最適化します。ダウンロードしたエクストラコンテンツの品質は、選択したネットワークタイプに基づきます。
3. 完了後、**OK** をクリックしてください。

リージョン設定

この設定により、コンピュータのディスクドライブのリージョン設定を簡単に管理、変更できます。

注：ディスクドライブのリージョン設定の変更は、5回まで行えます。

1. 設定  をクリックし、ディスクのリージョンコードタブを選択します。



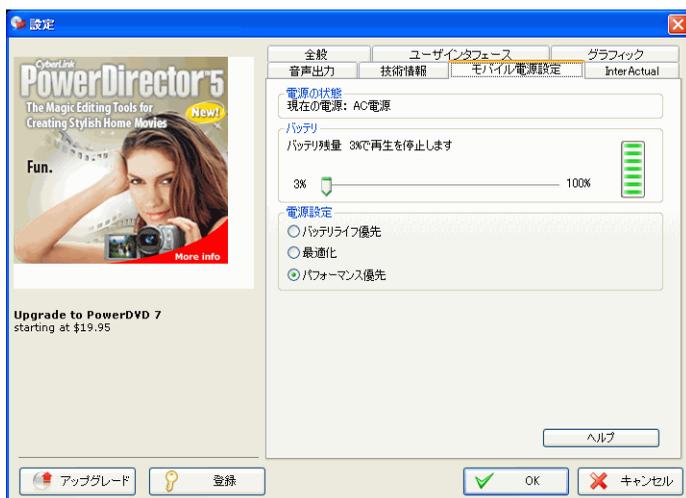
2. ディスクドライブのコンテンツタイプ、つまり BD、DVD などを選択します。
3. ディスクドライブに設定するリージョンを選択します。ディスクドライブをあるリージョンに設定すると、そのリージョンのタイトルだけをディスクドライブおよび CyberLink PowerDVD で再生できるようになります。
4. 完了後、**OK** をクリックしてください。

残りの変更には、変更を実施できる残り回数が表示されます。

モバイル電源設定 (オプション)

PowerDVD をバッテリー電源のノートブックで使用している場合、この機能を使用することができます。モバイル電力設定により、電力分析を設定し、バッテリー残量が指定レベルに達したら再生を停止させることができます。

1. 設定  をクリックし、モバイル電源設定タブを選択してください。



2. モバイル電源設定のオプションを設定します：
 - 電源の状態のセクションでは、使用中の電源 (バッテリーや AC 電源) を表示します。
 - バッテリーを使用している場合に、バッテリー残量が指定したパーセンテージ (3%-100%) 以下に達すると再生を停止させるよう設定できます。

- 電源設定のセクションでは、設定により電力消費と再生パフォーマンスをコントロールできます。**バッテリーライフ優先**は、パフォーマンスよりも再生時間を優先する機能です。**最適化**は、再生品質とコンピュータパフォーマンスのバランスを調整して再生する機能です。**パフォーマンス優先**は、バッテリー使用時における最良の画質を保持して再生を行う機能です。
 - **See-It-All** は、ノートブックのバッテリー残量とムービーの残り時間を計算し、ムービーの再生速度を調整することにより、ムービーを最後まで再生する機能です。プルダウン・ボックスで、**See-It-All** の設定を選択することができます。**常にオン**、**常にオフ**、**See-It-All** を使用するかどうかを**その都度たずねる**を選択することができます。
3. 最後に **OK** をクリックします。

テクニカルサポート

この章には、テクニカルサポートの情報を記載されています。ユーザーが回答を見つけるために役立つすべての情報が含まれています。現地の販売店 / ディーラーにお問い合わせによっても、素早く回答が得られます。

この章には、以下のセクションがあります。

- テクニカルサポートにお問い合わせになる前に ページの「114」
- Web サポート ページの「115」
- 電話サポート ページの「115」
- 電子メールサポート ページの「116」

テクニカルサポートにお問い合わせになる前に

次のいずれかにより、CyberLink の無料テクニカルサポートをご活用ください。

- プログラムと共にインストールされたユーザーガイドまたはオンラインヘルプで調べる。
- CyberLink Web サイトのサポートセクションで FAQ (よく受ける質問) を参照する。

http://www.cyberlink.com/multi/support/product_faq_home.jsp

FAQ にはユーザーガイドやオンラインヘルプよりも新しい情報やヒントが含まれている可能性があります。

テクニカルサポートに電子メールや電話でお問い合わせの場合は、次の情報をご用意ください。

- 登録した **CD キー** (CD ケースに記載)
- 製品名、バージョンとビルド番号。これらは通常、ユーザーインターフェイスの製品名をクリックすると表示されます。
- コンピュータにインストールしている **Windows** のバージョン。
- システムのハードウェア デバイス (キャプチャカード、サウンドカード、VGA カード) およびその仕様。
- 表示された警告メッセージの内容 (書き留めるか、スクリーンショットをとります)。
- 問題が発生した状況とその問題の詳細な説明。

Web サポート

問題に対する解決策は、次により CyberLink の Web サイトで 1 日 24 時間、無料で入手できます。

注： CyberLink Web サポートをご使用になるには、初めにメンバーとして登録する必要があります。

CyberLink は、次の言語による FAQ やユーザーコミュニティーフォーラムなど豊富な Web サポートオプションを提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	http://support.gocyberlink.com
繁体字中国語	http://tw.cyberlink.com/chinese/cs/support/index.jsp
簡体字中国語	http://cn.cyberlink.com/chinese/cs/support/index.jsp
日本語	http://jp.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/support_index_jpn.jsp

注： ドイツ語のコミュニティーフォーラムとその他いくつかの制限された Web サポート機能もご利用いただけます。

電話サポート

エンドユーザーに最高の解決策を提供する有料サービスの一環として次の言語での音声サポートをご利用になれます。

言語	音声サポート URL
中国語	http://tw.cyberlink.com/chinese/cs/support/voice_support.jsp
英語	http://www.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/voice_support.jsp

言語	音声サポート URL
フランス語、 ドイツ語、 イタリア語、 スペイン語	http://de.cyberlink.com/multi/program/page/_page_display.jsp?seqno=173
日本語	http://jp.cyberlink.com/english/cs/support/new_site/support_index_jpn.jsp

電子メールサポート

電子メールサポートでは、技術質問用紙を使用してさまざまな言語でご利用いただけます。

特定言語の連絡情報に関しては次の一覧を参照してください。

言語	Web サポート URL
繁体字中国語	http://tw.cyberlink.com/english/cs/support/form/index.jsp
英語	http://www.cyberlink.com/english/cs/support/form/index.jsp
フランス語、 ドイツ語、 イタリア語、 スペイン語	goCyberlink@aixtema.de

索引

Numerics

- 2 スピーカ出力 86
- 2 点間リピート 37
- 4 スピーカ出力 87
- 5.1 チャンネル 87
- 6 スピーカ出力 87
- 7 スピーカ出力 87
- 8 スピーカ出力 87

A

- A/V オプションパッド 13, 42
- A/V オプション・パッド 12
- aspect ratio 101

C

- CL Headphone 94
- CLEV-2 77
- CLMEI-2 88, 97
- CLPV 84
- CyberLink Virtual Speaker
設定 96

D

- DirectDraw 100
- Dolby Digital 102

- 5.1 出力を選択する 87
- その他の設定 91
- のダイナミックレンジ 91
- Dolby Headphone 87
- 設定 93
- Dolby Pro Logic IIx 98, 99
- Dolby Surround 87
- Dolby Virtual Speaker
設定 95
- DTS 87
- DVD
- リージョンコード 52
- 再生 53

F

- FourCC 101
- frame rate 102

I

- I-フレーム 31

L

- LFE 91

S

sampling rate 102
SPDIF 87
surface type 101
SVCD, 再生 56

T

TruSurround 92
 Dialog Clarity Enhancement 92
 TruBass 92
TruSurroundXT 音声設定 92

V

VCD, 再生 56

あ

アングル、切り換え 36
アングル切り換え 36

い

イコライザの設定 43

え

エクスプレスメニュー 44

お

オーディオ CD, 再生 57
オンスクリーン表示設定 66

か

カラーコントロールの設定 82
 カラーコントロール 82
カラプロファイル 82
カラオケ 37
 メニュー 38

き

キーコントロール 38
キーボード / マウスの設定 69

く

クローズドキャプション 47

こ

コマ送り 30
コントロールホイール 10, 16,
20, 48
 ショートカットキー 16, 20

さ

サウンド環境設定 91

し

- システム動作環境 24
- シャッフルする 38
- シャトル 29
- シャトル機能
 - マウススクロール設定 70
- ジャンプ 29
 - メニュー 29
- ショートカットキー
 - コントロールホイール 16, 20
 - メニュー / ナンバーパッド 14, 18
 - メニュー / ナンバー・パッド 7
 - 主なコントロール機能 10

す

- ステレオ 87
- スナップショットの設定 68
- スピーカー選択 86

そ

- その他の音声出力設定 90
- ソフトウェアのアップグレード 5
- ソフトウェアのアンインストール 6

た

- ダイナミックスクロールバー 8, 11
- タイムサーチ 31
- タイムシークのマウススクロール設定 70

つ

- ツールバー設定 71

て

- デジタルズーム 46
- デュアルディスプレイ 80

と

- ドライブ / プレイモードの選択 53
- ドラッグ & ドロップによる再生 58

ふ

- ファイルの関連付け設定 71
- ブックマーク 31, 71
 - に移動する
 - のメニュー 32
 - ビューワ 33
 - 移動する 31
- ブックマークする
 - ブックマークファイルを読み込む 72
 - メニュー 31
 - 設定 71, 73
 - 保存する 73
- ブックマークビューワ 41
- フルスクリーン 35, 77
- プレイリスト 59
- プレイリストの設定 59
- フレームのキャプチャ 34
- フレームをキャプチャする
 - 縦横比の 69

保存先 68

Say-It-Again 36

へ

ヘッドフォン 86

ま

マウススクロール設定 70

め

- メニュー 39, 47
 - VR での 39
 - からのレジューム再生 39
 - タイトル 39
 - ルート 39
 - 音声 39
 - 字幕 39
- メニュー / ナンバーパッド 14
 - ショートカットキー 14, 18
 - 使用 42
- メニュー / ナンバー・パッド 12
 - ショートカットキー 7

も

モバイル電源設定 110

り

- リージョンコード 52
- リピートする 36
 - 2 点間リピートを設定する 36

れ

- レジューム再生 53
 - の設定 65
- レジューム設定 53

- 一時停止 30
- 映像の設定 43
- 映像設定 77
 - アドバンス 79
 - 再生画面の設定 77
 - 色 82
- 音声 35
 - 切り換え 35
- 音声の設定 42
- 音声出力設定 86
 - Dolby Headphone 93
 - Dolby Virtual Speaker 95
 - TruSurroundXT 92
 - その他の設定 90
- 音声設定
 - CyberLink Virtual Speaker 96
- 音量
 - コントロール 11, 18
 - マウススクロール設定 70
- 画面表示 45
- 開く
 - フォルダモード 62
 - メディアファイル 57
- 技術情報
 - Audio Attributes 102
 - Display Information 100

- Hardware Information 103
- Player Information 100
- Subpicture Attribute 102
 - video attribute 101
- 元に戻る 29
- 言語 35
 - オンスクリーン表示 67
- 再生
 - DVD 53
 - DVD Video Recording ディスク 55
 - VCD/SVCD 56
 - オーディオ CD 57
 - ドラッグ & ドロップによる 58
 - ファイル 58
- 再生する
 - フォルダモード 62
- 再生画面の設定 77
- 再生支援機能 (DxVA) 77
- 再生操作 44
- 再生中のナビゲーション 48
- 視覚効果 47
- 字幕
 - Read-It-Clearly 46, 78
 - セカンダリ 46
 - プライマリ 46
 - メニュー 35
 - 外部字幕を読み込み 35
 - 表示 35
- 主なコントロール機能
 - コントロールホイールモード 20
 - ショートカットキー 10
 - ドックモード 7
 - プレイヤーモード 10
 - ミニプレイヤーモード 18
- 縦横比
 - をキャプチャする 69
 - 縦横比の設定 83
 - 情報表示 47
 - 設定 63
 - 全般の設定 64
 - アドバンス 66
 - ブックマークする 73
 - 操作パネルの設定 75
 - 言語 76
 - 操作パネル 75
 - 属性 100
 - 表示エリア 42
 - 命令セット 103

